

## 第VI章 とまどい悩む高校教師たち



### 1. 高校教師の退職願望

#### (1) 教職志望の時期

これまで、高校教師のライフスタイルをさまざまな角度から探り、かなり教師の姿が浮かびあがってきた。ところで、彼らはいつごろから教師を志望したのだろうか、そしてそのとき誰の影響が強かったのだろうか。

図VI-1は教師を志望した時期を調べたものである。表からわかるように、いちばん多いのが「大学（師範）の卒業が近づいたころ」で、27%とほぼ3割に近い。次が「高校生のころ」の25%である。また「社会人になってから」という転職組も9%と1割近くいる。

今、高校生のときまでに教師になろうと決めていた者を見ると、「小学生のころ」（7%）、「中学生のころ」（11%）を合わせて、43%になる。4割を超える者がすでに高校生時代までに教師になろうと思っている。ちなみに、中学校教師は53%である（「モノグラフ中学生の世界」vol.7 中学教師の生活と意見）。中学校の教師に比べると少し少ないが、それでもかなり早い時期から、多くある職業の中から教職を自分の仕事として決めているといえよう。

また、もし教職につかなかったら、「どんな仕事につきたいと思うか」という設問に対し

ても、

- ①研究者・評論家 23%
- ②技術者 17%
- ③商社・サラリーマン 17%
- ④ジャーナリスト 13%
- ⑤医師・弁護士 10%

のように、専門職の色濃い職業を選ぶ者が63%とかなりの数を占める。こうした進路の傾向を考えると、高校教師たちは自由で自律性の高い専門職性の高い職業をかなり早くから志望していた者といえそうだ。

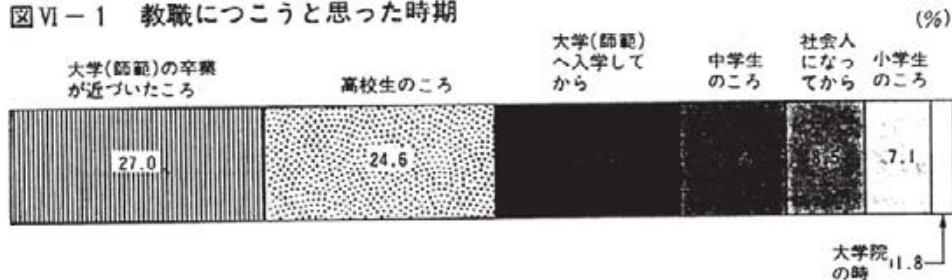
ところで、教職を選ぶときどんな人の影響を受けたのであろうか(図VI-2)。教師となるのに強い影響を与えた人が「いる」と答えた者が45%いる。そして、その中で多いのが、高校の教師(13%)、父母(が教師だった)(10%)、中学の教師(6%)、小学校の教師(5%)である。大学の教師は3%とわずかであるが、小・中・高校の教師は、合わせると24%にも達し、4人に1人がそうした

教師の影響を受けている。中学校の教師の場合、恩師の影響を受けた者は14%である。今回と選択肢のことば(恩師と教師)が違うので、単純な比較は無理であるが、それにしても教わった教師、とりわけ高校教師の存在が大きいと言える。このように教職志向は、教わった教師の影響を受けて、早くから形成されていたようだ。

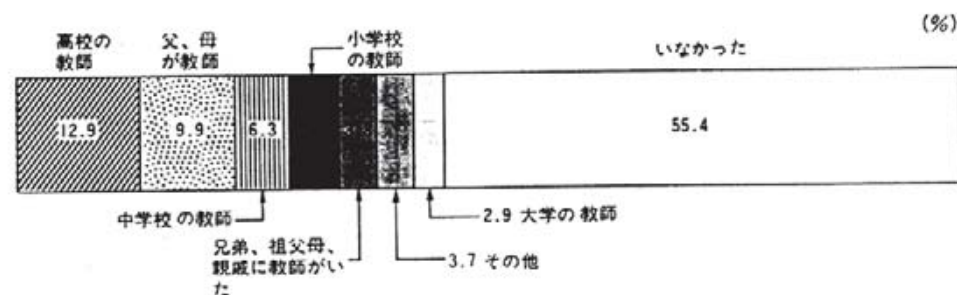
しかし、いうまでもなく職業生活は毎日が楽しいものでなくつらい日もある。高校教師も例外ではない。第II章で述べたように高校教師は喜びのある仕事であると同時に、体力がいり、時間的ゆとりがなく、精神的気苦労の多い仕事と思っている。

したがって、今までに1度ぐらひは教師をやめたいと思ったことがあるかもしれない。それを調べたものが図VI-3である。「一度もない」と答えた者は38%と4割弱、そして「1~2度あった」者は34%。それから「数回あった」(23%)と「いつもそう思っている」(6%)を合わせた者は28%と3割弱である。そうすると、62%と6割を超える者が

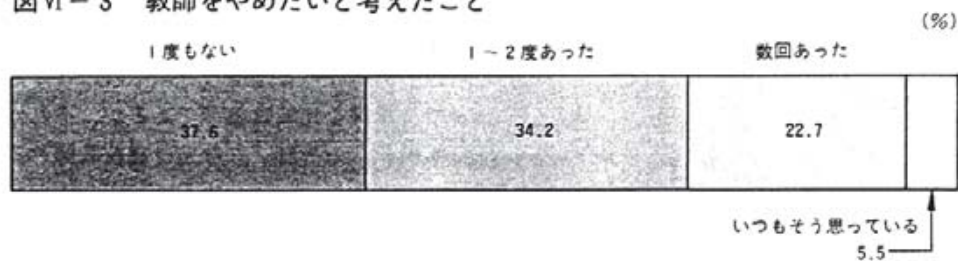
図VI-1 教職につこうと思った時期



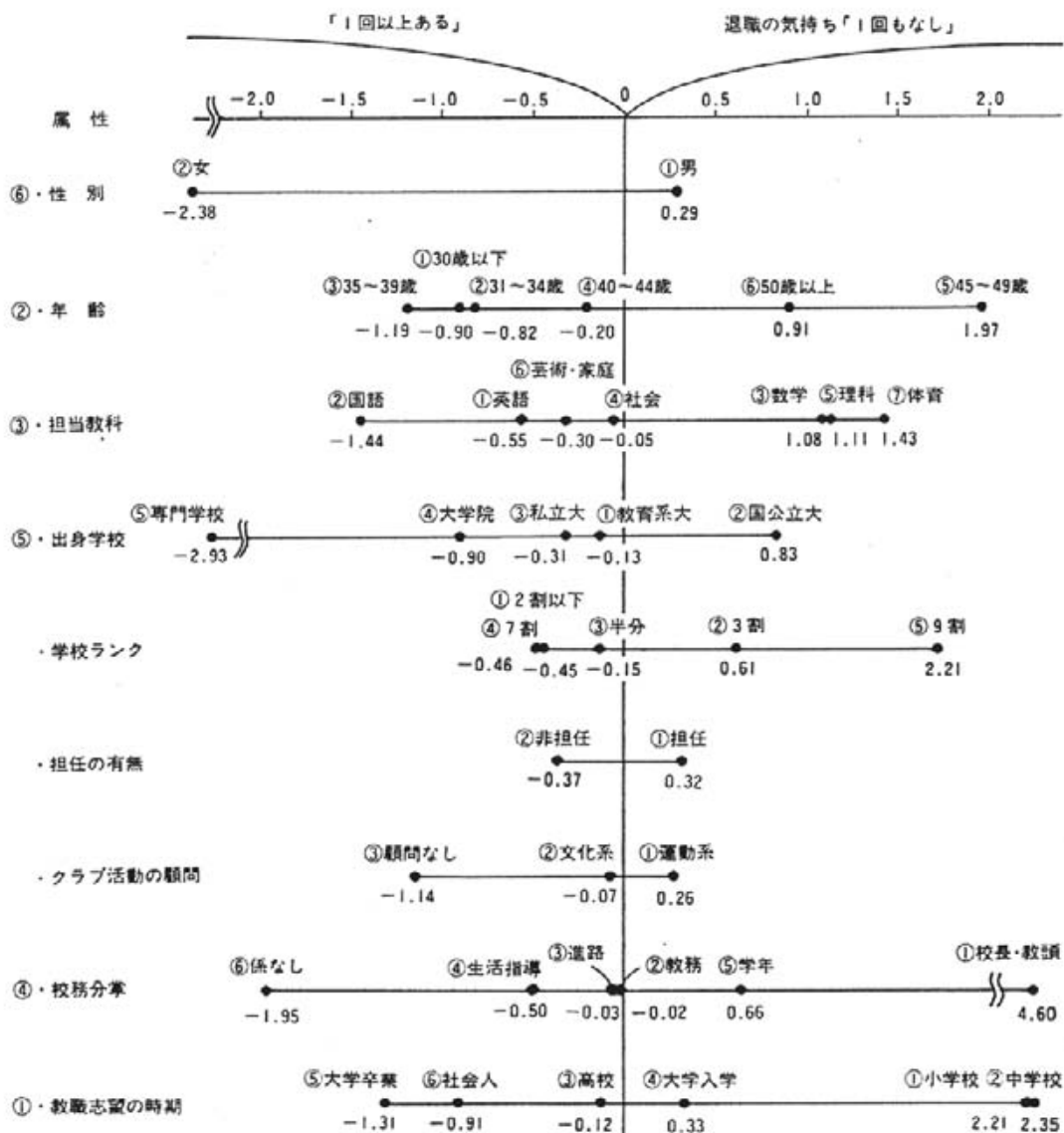
図VI-2 教職につくのに強い影響を与えた人



図VI-3 教師をやめたいと考えたこと



図VI-4 退職の気持ちはあったか



これまでに少なくとも1度は教師をやめたいと思ったことになる。そして、その半数はかなりひんぱんに退職を考えていたようだ。

それでは、どのような教師が退職を考えていたのであろうか。図VI-4に注目してほしい。これは数量化II類を使って、教職を少なくとも1度はやめようと思った教師の属性を調べたものである。

今、図中の左側（マイナスのカテゴリー・スコア）に着目し、属性を拾ってみると次の通りになる。

- ①教職志望の時期は、「大学卒業のころ  
社会人」
- ②年齢は、20～30歳代のころ
- ③担当教科は、「国語」「英語」などの文科系の教師
- ④校務分掌では、「役職や係についていな

い」教師

- ⑤出身学校は「専門学校」「大学院」「私立大学」
- ⑥性別は女教師
- ⑦クラブ活動の顧問をしていない教師

したがって、退職の気持ちの強い者は、20～30歳代で、教職を選んだのが遅く、出身は「専門学校」や「大学院」、「私立大学」という、いわば教師社会では傍系に属し、役職や係についていない、クラブの顧問もしていない、国語と英語の教師ということになる。

他方、退職の気持ちなど一度も持ったことがない教師の属性は、校長・教頭は論外として、45歳以上で、理数科と体育の担当であり、小・中学校時代から教師を志望していて、国立大学を卒業し、現在進学校に勤務している者に多い。

## 2. 生徒についていけない悩みがトップ——

### (1) 高校教師の悩み

一度就いた職業を断念しようと思うからには、それなりの理由がある。ましてや職業選択では専門職志向が強く、その上教職を早くから選んだ者がかなりいる高校教師の悩みは何であろうか。自分の指導に自信を失ったのであろうか、それとも準義務化に伴いさまざまな生徒の出現にとまどったのであろうか。あるいは、同僚など等の人間関係に疲れたのであろうか。

高校教師の悩みとして考えられる事柄を9項目あげ、その中からいちばん悩んでいるものを選んでもらった結果が表VI-1である。表からわかるように、1割以上の者が一番悩んでいると答えたものは、次の通りである。

- ①生徒の考えや行動についていけない26%
- ②生徒の学力が低く教えがいがない…18%

- ③専門的力量に自信がない …13%
- ④クラブ活動の指導が負担 …12%
- ⑤自信をもって進路指導ができない…11%

最も多い悩みは「生徒の考えや行動についていけない」で4人に1人の割合になる。次が「生徒の学力レベルが低く、教えがいがない」が18%で2割弱。現在の高校生は、第III章でも述べたように、教師の高校時代とは異なっている。昔に比べて今の高校生はクラブ活動は活発で異性との交際もさかんで学校生活は楽しんでいるようだが、家での勉強はあまりせず、大学進学をめざして頑張ってもいず、自分の高校に誇りを感じていない。そして、政治的社会的な関心が低く、何事にも無気力に映っている。教師の胸に刻まれたこうした高校生像からすれば、今の高校生の行動や考えについていけず、彼らの低学力に教えがいがない、という悩みは当然かもしれない。

表VI-1 高校教師の一番の悩みは何か

(%)

生徒の考えや行動についていけない	25.9
生徒の学力レベルが低く教えがいがない	18.0
専門的力量に自信がない	12.8
クラブ活動の指導が負担	12.2
自信をもって進路指導ができない	11.3
校長・教頭との意見の対立	6.8
生徒に授業が中断される	5.2
同僚とのつきあいがうまくいかない	4.8
校務分掌の仕事がうまくこなせない	3.0

い。いずれにせよ、現実には現在の生徒の行動にとまどい悩んでいるのである。

他方、「校長・教頭との意見の対立」(7%)や「同僚とのつきあいがうまくいかない」(5%)という職場での人間関係にかかわる悩みは、それほど多くない。また、「専門的力量に自信がない」に代表されるように、教師の個人的な指導力に対する悩みは無視できない。しかし全体的にみると、やはり「生徒に授業が中断される」(5%)も含めて、生徒に関する悩みが半数を占めている。

## (2)学校・年齢別悩みの違い

ところで、教師の属性によって悩みはどのように変わるのであろうか。まず、勤務している学校のランク別に調べたものが表VI-2である。表中の○は一番多い悩み、◇は次位、□が三番目を示している。

表からわかるように、学校ランクによって悩みが異なってくる。「生徒の考えや行動についていけない」はほぼどの学校においても多い悩みである。ところが、非進学校と進学校

とでは悩みの順位が変わる。進学校になるにつれて、全体で3位と4位であった「専門的力量に自信がない」や「クラブ活動の指導が負担」であった悩みが2位に浮上してくる。それから、全体で5位であった「進路指導に自信がない」は共通一次の「受験者7割ぐらい」「受験者ほぼ全員」にみられるように、3位になっている。そして非進学校と進学校の悩みを最も端的に示しているのが、「生徒の学力が低く教えがいがない」である。数値「受験者ほぼ全員」=1.1<9.3<12.2<15.1<25.0=「受験者2割以下」が示すように、共通一次の受験者が少なくなるにつれて、そのような悩みが増えてくる。

同じ悩みでも非進学校の教師は生徒の低学力と自分の描く授業観のズレにいらだつ、一方、進学校の教師は、専門的力量や進路指導に不安を感じ、クラブ活動の指導が負担になってくる。こうしてみると、教師の悩みは、かなり勤務する学校の生徒によって規定されるようだ。

次に、教師の年齢によって悩みはどのよう

に変わるであろうか。表VI-3がその結果である。表の見方は、先の学校別と同じである。興味深い結果が読みとれる。表が示すように年齢によって悩みの順位が入れかわっている。今それをスケッチしてみると次の通りになる。

○30歳以下の教師

- 一番の悩み……専門的力量に自信がない
- 二番目の悩み…生徒の考えや行動についていけない
- 三番目の悩み…進路指導に自信がない

○31～39歳の教師

- 一番の悩み……生徒の考えや行動についていけない
- 二番目の悩み…生徒の学力レベルが低く教えがいががない

三番目の悩み…専門的力量に自信がない

○40歳以上の教師

- 一番の悩み……生徒の考えや行動についていけない
- 二番目の悩み…生徒の学力が低く教えがいががない
- 三番目の悩み…クラブ活動の指導が負担

やはり年齢別に調べても「生徒の考えや行動についていけない」という悩みは、ほぼどの年齢層でもトップにくる。とはいえ、細かく見ると、教師の悩みは年齢によって異なり、その特徴から年齢は3つの幅に分けられそうだ。1つは自分の指導力に不安を感じる20歳代、2つは高校教師の平均的な悩みをもつ30歳代、そして3つ目はクラブ活動の指導が負担にな

表VI-2 教師の一番の悩み×学校ランク (共通一次の受験者数)

(%)

学校ランク	受験者 2割以下	受験者 3割くらい	受験者 半数くらい	受験者 7割くらい	受験者 ほぼ全員
生徒の考えや行動についていけない	23.8	27.2	29.4	28.0	27.3
生徒の学力が低く教えがいががない	25.0	15.1	12.2	9.3	1.1
専門的力量に自信がない	12.1	13.4	9.4	13.0	21.2
クラブ指導が負担	8.8	11.4	21.1	16.6	15.2
進路指導に自信がない	10.6	10.7	9.4	14.0	16.2
上司と意見が対立	6.7	9.1	5.0	6.2	5.1
授業が中断される	7.3	2.7	5.6	2.6	2.0
同僚とのつきあいがよくない	3.0	6.7	5.9	7.3	8.1
校務分掌がうまくいかぬ	2.7	3.7	2.8	3.1	4.0

注) ○……一番多い悩み  
 ●……二番目に多い悩み  
 □……三番目に多い悩み

表VI-3 教師の一番の悩み×年齢

(%)

悩 み	年 齢					
	30歳以下	31-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50歳以上
生徒の考えや行動についていけない	19.0	21.1	29.2	25.7	29.4	31.6
生徒の学力が低く教えがいかない	10.8	19.1	16.9	18.0	22.2	21.9
専門的力量に自信がない	24.9	15.1	11.0	7.7	8.6	8.6
クラブ指導が負担	8.9	14.1	10.4	15.3	12.2	11.6
進路指導に自信がない	17.0	11.6	6.8	12.3	8.1	10.3
上司と意見が対立	3.6	4.0	6.8	5.4	5.0	4.7
授業が中断される	9.2	5.0	6.8	2.3	5.4	2.3
同僚とのつきあいがうまくいかない	5.2	7.0	8.7	10.0	5.4	5.0
校務分掌がうまくいかない	1.3	3.0	3.2	3.4	3.6	4.0

注) ○……………一番多い悩み  
 ○……………二番目に多い悩み  
 □……………三番目に多い悩み

ってくる40-50歳代の教師となる。

以上、高校教師の悩みを概観してきた。ここからわかったことは高校教師は職場の人間関係から生じる事柄よりも生徒や自分の指導力に対する悩みが多く、それは勤務する学校や教師の年齢によって異なってくるということである。それから特筆すべきことは、生徒の考えや行動についていけない悩みを持っている教師が一番多く、4人に1人いるということである。これから、自分たちの高校時代とは異質のさまざまな生徒の出現にとまどい苦悩する教師が浮かんでくる。

### (3) 悩みと教師の属性

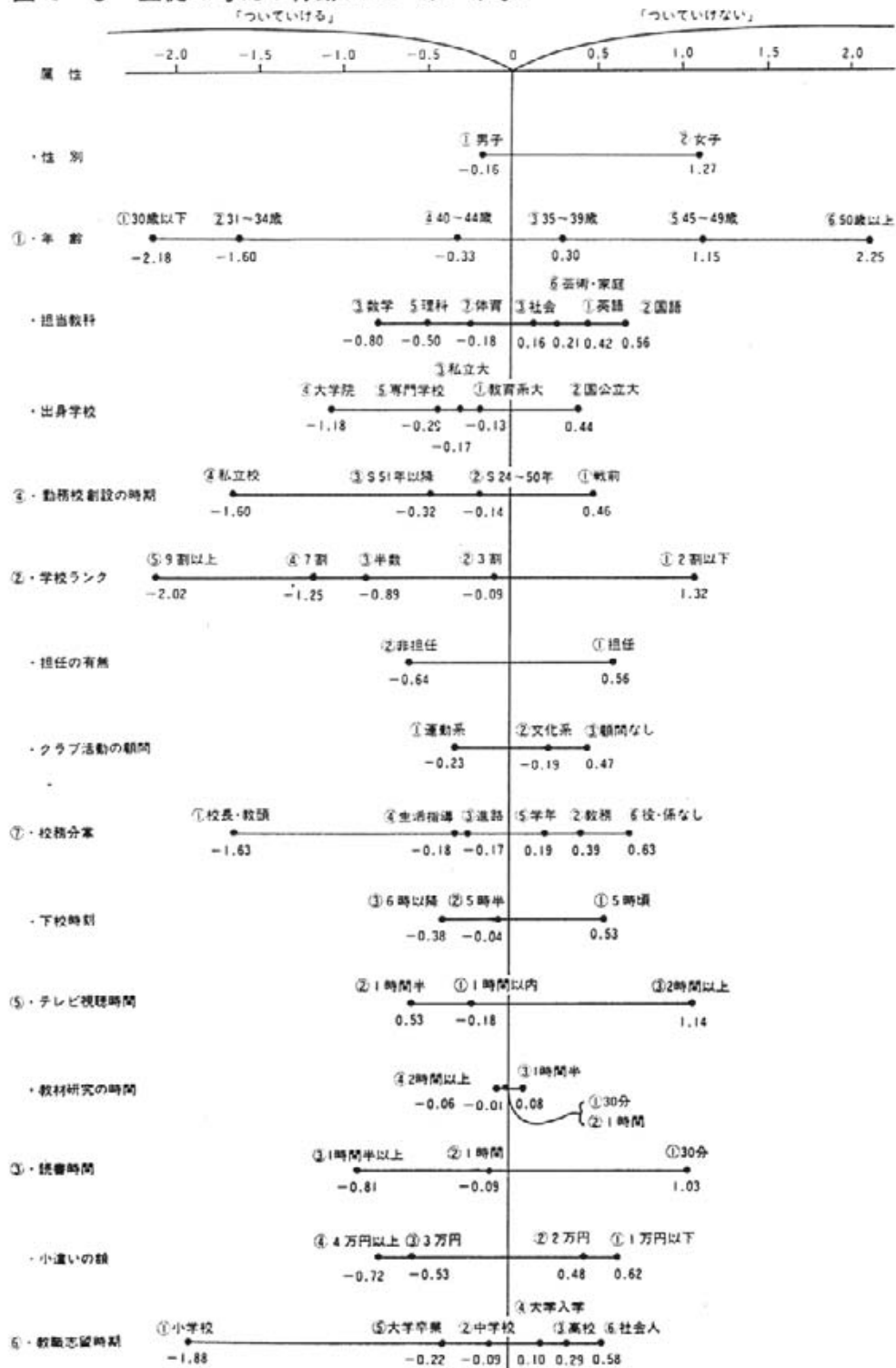
それでは、そうした悩みを持っている教師はどんな属性をもっているであろうか。それを調べたのが図VI-5である。図が示すように、「生徒の考えや行動についていけない」悩みを弁別する力のある項目は、①年齢、②

学校ランク、③読書時間、④創設の時期、⑤テレビ視聴時間、⑥教職志望の時期、⑦校務分掌などである。

今、これらのプラスのカテゴリー・スコア(図中の右側)に注目して、生徒についていけないと悩んでいる教師の属性を拾ってみると、

- ①年齢は「45-49歳」と「50歳以上」の教師
- ②学校ランクは「共通一次受験者が2割以下」の非進学校
- ③読書時間は、1日に30分ぐらいと少ない教師
- ④創設の時期は、戦前からの古い学校
- ⑤テレビ視聴時間は、2時間以上と多い教師
- ⑥教職志望の時期では、社会人になってからの教師

図VI-5 生徒の考えや行動についていけない





⑦校務分掌は、役職や係についていない教師

となる。いうならば年齢45歳以上、創設は古い非進学校に勤務していて、読書時間は少なくテレビをよくみており、とりたてて役職や係に就いていない教師が、生徒を理解できなくなっていると感じている。

それに反して、生徒の行動にそれほどとまどいを感じていない教師の属性は、次の通りである。

①年齢は「30歳以下」「31～34歳」

②学校ランクは「受験者が9割」「7割」という進学校

③読書時間は「1時間半以上」と多い

④勤務学校は私立学校

⑤テレビ視聴時間は「1時間半」とふつう

⑥教職志望の時期は「小学校時代」と早い

⑦校務分掌では、校長・教頭という管理職

早くから教職を志望していた30歳代前半で、進学校に勤務し、読書時間は多くテレビも人並みにみている教師が、生徒との間に溝を感じていないプロフィールである。

### 3. まとめ

本章から以下のことが言える。高校教師のかなりの者は、早くから教わった教師や両親の影響を受けて教職に就いている。いわゆる「デモ・シカ」教師でなく、教職に熱意を抱いていた教師たちが多い。ところが、これまでに少なくとも1度は教職をやめたいと思った者が6割を超えている。そして、そう思っ

た者は比較的若い教師で、教職を志望した時期が遅く、出身大学が私立大学の、現在役職や係に就いていず、クラブの顧問もしていない、という顔をもっている。すなわち、教員社会において傍系的な位置にいる教師が教職を断念しようとする気持ち強い。

しかし、6割強という数字から傍系的な教師のみならずかなりの者が、これまでに大きな問題にぶつかり悩んだことが推測できる。そして、今、高校教師が直面し悩んでいることは、職場での人間関係でなく、さまざまな欲求と質をもっている生徒との関係において生じる事柄である。具体的には、生徒の考えや行動についていけない、生徒の学力が低く教えがいかないなどの悩みとなっている。

ところで、こうした悩みは勤務している学校のランクや教師の年齢によ



って大きく異なる。生徒の行動にとまどい悩んでいるのは、高年齢の教師で非進学校に勤務している者である。他方、若い年齢の教師で進学校に勤務している者は、あまり生徒との関係でとまどっていない。また、生徒の学力が低く教えがいきがないと悩んでいる者は、非進学校に勤務する高年齢の教師たちである。その他、高年齢で進学校に勤務するとクラブ活動の指導が負担になってくる。

こうしてみると、II章で見てきたように円熟した教師ほど授業はていねいできめ細かく、生徒指導も熱心で、教職の仕事を高く評価しているが、新しい生徒たちの出現にとまどっている。円熟した者ほど授業で勝負したい気持ちは根強いが生徒の反応が鈍くいらだっている。高年齢教師の苦悩する姿が目に見えてくるようだ。一方、若い教師は、教職は精神的苦勞が多く体力のいる仕事だと思っているが、生徒とのヒューマンなふれあいに力を入れているせいか、生徒との間にそれほどズレを感じていない。彼らの今の悩みは、専門的力量に自信がないとか、進路指導に自信がないなどに代表されるように、教師として「一人前」になる過程でだれもが体験することである。いわば生みの苦しみというものである。

したがって、現在の高校教師のかかえる問題は根が深いといわざるをえない。20年以上のキャリアを持っている教師は、これまでは授業で勝負でき、そのことによって教師としての存在証明を得ることができた。それが今の生徒の実態を考えると、授業で勝負できないのはいうまでもなく、生徒が見えなくなっている。教師としての存在感がゆらぎ始めているのである。

## 第VII章 教師のタイプとライフサイクル



これまでの章で、教師の仕事観、生徒観、生徒指導観、ライフスタイル、教職観について、詳細に分析をすすめてきた。これまでの考察で、高校教師がどのような教育観とライフスタイルの持ち主であるか、ある程度明らかになったと思う。また同じ高校教師といっても、性別、年齢、教科、役職、勤務校の特質などの違いによって、かなり異なった意識や行動の持ち主であることも明確になった。

しかし、まだ高校教師の意識や行動の違いが、何によって生じているのかが、体系的に整理されているとはいえない。ある意識や行

動は年齢によって、別の意識や行動は教科によって、また第3の意識や行動は学校ランクによって変わってくるのが明らかになったとしても、それらの相互の関連はまだ十分に解明されていない。

そこで以下では、高校教師の教育観の全体から、林の数量化Ⅲ類で教師のタイプを出し、そのタイプがどのような属性によって規定されているかを明らかにしてみよう。それは要因間の相互関連を解明するのに役立つであろう。

# 1. 教師の4タイプ

## (1)教師の教育観の構造

この分析には、教師のタイプを出すのにふさわしいと思われる質問群を選んだ。つまり質問⑩(日頃の授業、生徒指導行動)、質問⑫(高校教師という仕事の評価)、質問⑭(教師の悩み)、質問⑮(職員室での話題)を採用した。全部で37項目の質問からなるそれぞれの回答を二者択一の回答にリコードし、(⑩と⑫は1+2と3+4+5で2分化、⑭は1+2と3+4、⑮は1と2+3で分類)74項目の回答を数量化Ⅲ類にかけた。

数量化Ⅲ類は、質問間の相互関連を回答の傾向から明らかにし、同時に回答者を類型化する方法として最もふさわしい方法である。

まず最初に、37個の質問74個の回答を最も有効に仕分ける軸として1軸が出てくる。1軸の得点の高い順にカテゴリースコアを示したのが表Ⅶ-1である。

この1軸のプラス方向をみると、最初に家庭、音楽、本、趣味といった必ずしも教師の職業とは結びつかないことを職員室で話題にする傾向が出てくる。次いで、授業や部活動に情熱を注ぎ、教師の仕事に打ち込む傾向が出てくる。いずれにしろ、人間一般あるいは生徒との接触に情熱や興味を持ち、教育熱心なタイプである。「人間志向」と名づける。

それに対して、その対極にある1軸のマイナス方向は、人間的なことには一定の距離を置く傾向である。生徒を突き離し、生徒との接触をなるべく避けようとする。同僚とも人間臭い話題は避ける。仕事に体力や神経を消耗せず、教師としての最低限の役割をはたせばよいと割り切っている。「人間志向弱い」と名づける。

したがって教師のタイプを仕分ける最初の指標は「人間志向」か「人間志向弱い」の傾

向であるということができる。

1軸に次いで回答を仕分けるのに有効な指標として2軸が出てくる。2軸の得点の高い順にカテゴリースコアの得点を示したのが表Ⅶ-2である。

この2軸のプラス方向を見ると、校長・教頭、同僚との関係がうまくいかず、専門に自信がなく、授業も生徒が騒がしく、進路指導や部活動の指導も負担に感じるという教職に自信、自負の乏しい教師像が出てくる。「自信・自負なし」と名づける。

2軸のマイナス方向を見ると、高校教師という仕事に自信と誇りを持ち、マイペースで授業も生徒指導もそつなくこなす傾向である。「自信・自負あり」と名づける。

このように2軸は教師という仕事に「自負・自信なし」と「自負・自信あり」を仕分けるものといつてよいであろう。

第3軸は「生まじめ」と「気楽」という分類軸も出てくるが、こちらの相関比は低い(0.2257)ので、分析を省略する。

この1軸(人間志向対人間志向弱い)と、2軸(自信・自負あり対自信・自負なし)を交差させて、各回答をプロットしたのが図Ⅶ-1である。

これを見ると、各回答の遠近が一目でわかる。例えば「校長・教頭と意見が対立する」と答えた教師は「進路指導に自信がない」と答える傾向が強いが、「教師は精神的に楽」とは決して答えない。

2つの軸の交差によって、4つの象限ができる。各教師はこの象限に名称を与え、教師の4タイプとすることができる。

第1象限の教師は、人間好き・生徒好きだが、まだ教師としての自覚が充分になく、専門を深めることをしていない。職員室での話題も専門や教科のことより、趣味やスポーツ、

表Ⅶ-1 1軸のカテゴリースコア

(相関比 0.2776)

人  
間  
志  
向

家族や育児のことを話題にする	6.6044
映画や音楽のことを話題にする	6.1879
最近読んだ本や雑誌を話題にする	6.0251
趣味やスポーツを話題にする	3.5247
時事問題について話題にする	3.4477
部活動について話題にする	3.1135
生徒に人気のあるマンガや音楽に接する	2.0019
授業案や講義ノートをつくる	1.5984
クラブを熱心に指導する	1.5884
教科指導について話題にする	1.5358
高校教師は大学教師よりやりがいがある	1.0943
受けもちの生徒のことを話題にする	1.0840
教師は社会的に尊敬される仕事だ	0.9819
専門書によく目を通す	0.7597
.....	
講義ノートはつくらない	-0.8652
37度の熱の時学校へいかない	-0.9160
趣味やスポーツは話題にならない	-0.9443
生徒の年賀状に返事を書かない	-0.9803
教科指導について話題にならない	-1.0508
時事問題は話題にならない	-1.0510
専門書に目を通さない	-1.1740
教師には専門知識必要なし	-1.7190
タバコをすっている生徒を注意しない	-1.8392
教師は精神的気苦労なし	-1.8896
教師は体力がいらない	-2.0970
生徒が騒々しくて授業中断する	-2.2227
生徒と接するのは喜びではない	-3.1080
生徒の質問に親身に答えない	-3.4116

人間志向弱い

表VII-2 2軸のカテゴリースコア

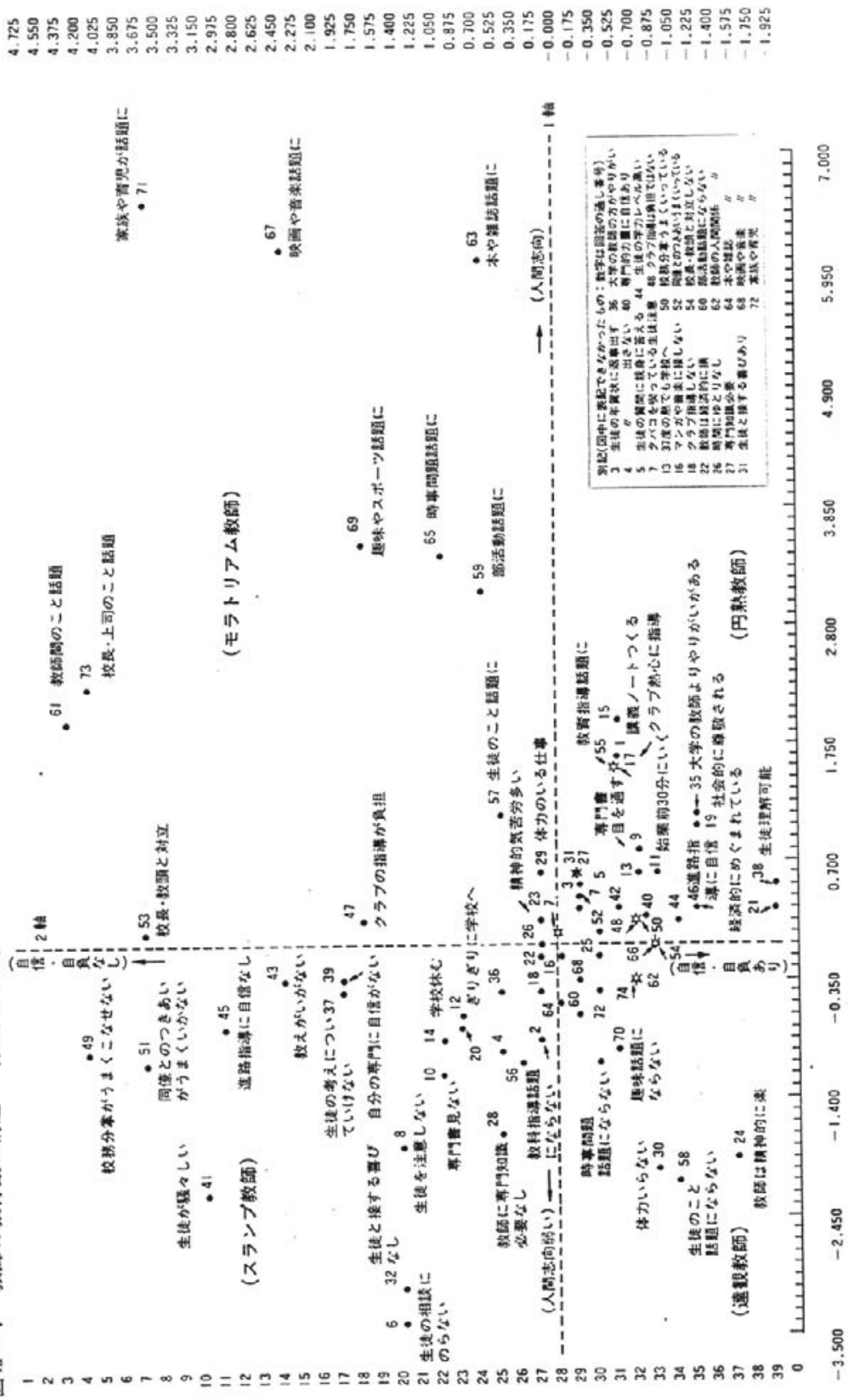
(相関比 0.2486)

自信・自負なし

自信・自負あり

教師の人間関係が話題に	4.4117
校務分掌がうまくこなせない	4.2750
校長や上司のことが話題に	4.1271
同僚とのつきあいがうまくいかない	3.7191
家族や子どものことが話題に	3.6908
校長や教頭と意見が対立する	3.6833
生徒が騒々しく、授業中断	3.0968
自信をもって進路指導ができない	2.9036
映画や音楽のことが話題に	2.4624
生徒の学力レベル低く、教えがいがない	2.3761
生徒の考えや行動についていけない	2.0082
自分の専門的力量に自信ない	1.9892
趣味やスポーツが話題に	1.7677
クラブの指導を負担に感じる	1.7024
中 略	
時事問題が話題に	-0.3465
始業時間の30分前に学校へ	-0.8099
校長や教頭と対立しない	-0.8499
教師は体力がいると思わない	-0.8597
受けもち生徒のこと話題にならない	-1.0736
生徒の学力が高く、教えがいがある	-1.1178
自信を持って進路指導できる	-1.1445
高校教師は社会的に尊敬される	-1.1646
大学教師よりやりがいがあがる	-1.1781
精神的気苦労なし	-1.6057
生徒の考えや行動についていける	-1.9262
教師は経済的にめぐるまっている	-1.9631

図VII-1 教師の教育観の構造 (教師タイプ)



別紙(四中)に記載できなかったもの: 数字は回答の通し番号)  
 3 生徒の卒業後に進路を出す 36 大学の教員の方がやりがい  
 4 出さない 40 専門的方面に自信あり  
 5 生徒の質問に簡単に答える 44 生徒の学力レベル高い  
 7 クラバコを吹っ飛ばしている生徒 48 クラブ活動は興味が低い  
 13 31度の熱でも学校へ 50 校務分掌うまくいっている  
 16 マンガや音楽に興味しない 52 同僚とのつきあいがいい  
 18 クラブ指導しない 54 校長・教頭と対立しない  
 22 教師は経済的に困 60 校務話題にならない  
 26 時間にとりなし 62 教師の人間関係  
 27 専門知識必要 64 本や雑誌  
 31 生徒と接する喜びあり 68 映画や音楽  
 72 家庭や育児

家庭のことにいってしまう。「モラトリアム教師」と名づけよう。

第2象限の教師は、教師仲間ともうまくいかず、専門教科に自信がなく、人間嫌いで、教職にいや気がさしている。高校教師の仕事の限界につきあたっている教師である。「スランプ教師」と名づけよう。

第3象限の教師は教師としての自信と自負はあるが、元気あふれ生意気な生徒とまとも

に対峙する気力と体力はなく、適当に手を抜き、そつなく授業や生徒指導をこなすタイプ。「達観教師」の名づけよう。

第4象限の教師は、専門教科の勉強は怠らず、始業30分前には学校へ行き、授業、クラブ指導、進路指導に打ち込んでいる。高校教師の仕事に情熱とやりがいを感じているタイプ。「円熟教師」と名づけよう。

## 2. 教師のタイプの規定要因

### (1)性・年齢別にみる教師タイプ

以上のように、高校教師には「モラトリアム教師」「スランプ教師」「達観教師」「円熟教師」の4つのタイプがある。それでは、これらのタイプは、どのような教師の属性によって分化しているのであろうか。教師の性、年齢、担当教科、役職・係、学校ランク（共通一次受験者の割合）別にみたのが、図VII-2である。

性別でみると、男子は原点に近いが、女子は人間好きだが自信・自負のない「モラトリアム教師」の典型となっている。女子の高校教師は少なく、彼女らが高校教師として円熟するのは困難な条件が多くあるように思われる。

年齢別にみると、個人のライフサイクルにより教師タイプが移動していくことがよくわかる。

20代から30代前半までは、「モラトリアム教師」としての特徴を充分帯びている。教師としての仕事より遊びや家庭のことが気にかかる。教育への情熱はあるが、専門の知識や教育技術がそれに伴わず悩むことも多い。

35～39歳という年代がいちばん、教師が落ち込む時期である。教職歴も10年以上となりベテラン教師の域に入りつつあるが、若いころ抱いた教育への熱い思いも失せて、生徒がわずらわしくなり、自分の専門にも壁に突きあ

たる。かつての「大学紛争」の世代がこれにあたるのは、当時の大学教育の荒廃の影響が今あらわれているのであろうか。

40～45歳という年代は、悩むことは少なくなる。役職につき学校経営に参画し、教職に対する自信と自負は高まる。しかし一方で、教育熱は醒め、教育の限界を知るようになる。諦めと達観の境地に到る、「達観教師」の誕生である。

46～49歳と50歳以上はほとんど差はなく、諦めと達観の境地である。50歳以上で、多少教育への情熱をとりもどし、「円熟」の方向へ向かう。

以上のように、教師タイプは個人のライフ

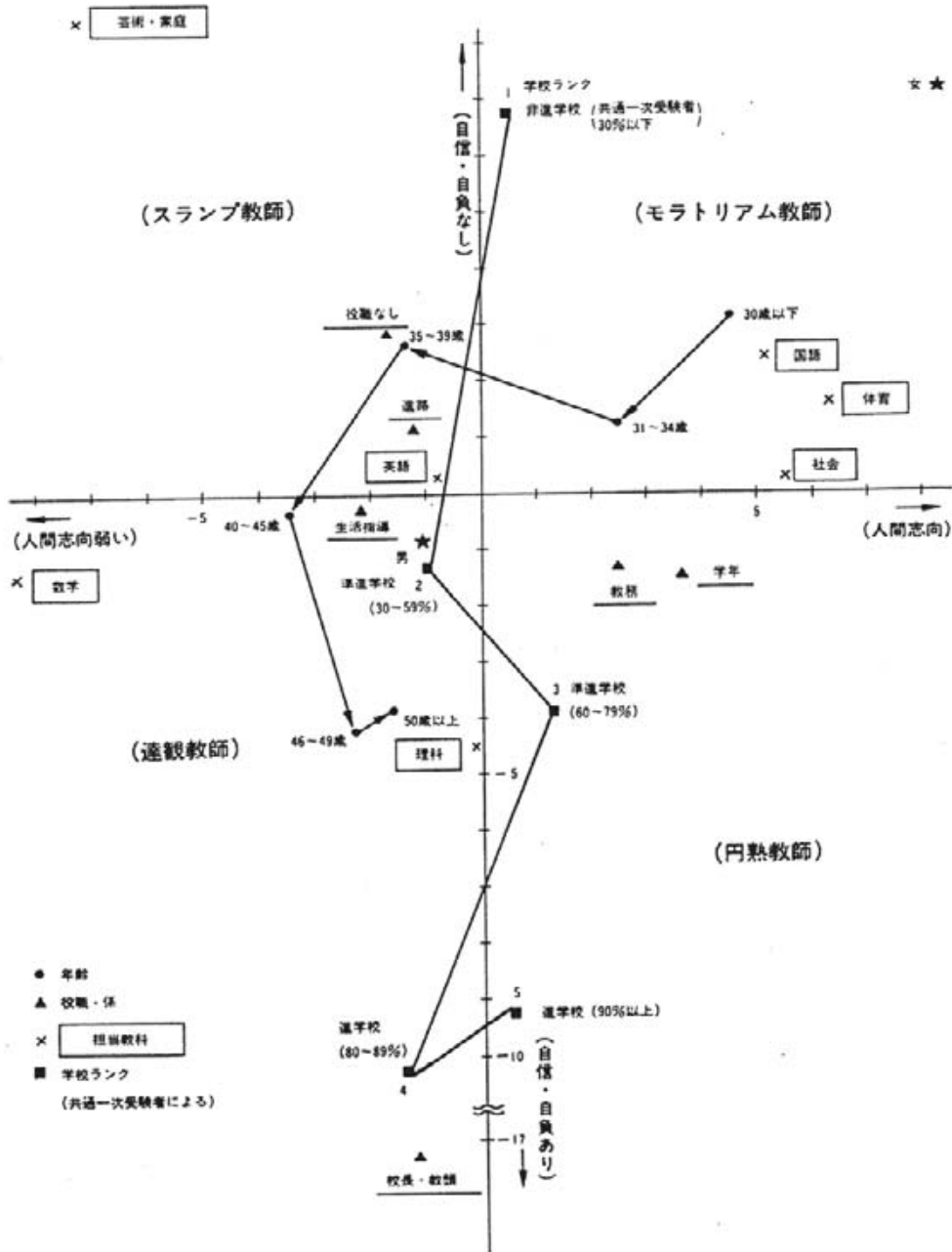




サイクルにそって、「モラトリアム教師」(25～34歳)「スランプ教師」(35～39歳)→「達

観教師」(40～49歳)→「円熟教師」(50歳以上)という変化をとげる。

図VII-2 教師のタイプの規定要因



## (2)教科・役職・学校別にみる教師タイプ

次に担当教科別にみてみよう。「国語」「体育」「社会」は、生徒好きだが、教職に自信・自負のない「モラトリアム」タイプ。「数学」は人間志向の弱い「達観」タイプ。「理科」は自信と自負が一番ある。「英語」は中庸。

役職・係別では、それほど差はない。「教務・総務・教科」と「学年」係が「円熟」タイプ。「進路」係が「スランプ」タイプ。「生活指導」係が「達観」の傾向がある。

「校長・教頭」の教職観は一般教師のそれとは大きく違う。人間志向は中庸ながら自信と自負が圧倒的に大きくなっている。教職に対する自信と自負のある教師が校長・教頭になれるのか、それとも校長・教頭職につくと自信と自負が生まれてくるのかは定かでない。

学校ランク別に見ると、きわめてはっきりした傾向が、2軸（自信・自負あり——自信・自負なし）にそってある。

共通一次受験者の少ない非進学校に勤める教師は、日々さまざまなことで悩むことが多いのに対し、共通一次受験者の多い進学校の教師は、悩むことも少なく、教職に自信と自負をもつことができる。つまり、進学校に勤めると自信・自負のある「円熟教師」か「達

観教師」になるのに対し、非進学校に勤めると、自信・自負なしの「モラトリアム教師」か「スランプ教師」になる。

現代の教育体制の問題である、94%という高い高校進学率や高校格差の問題がもう一度問われねばなるまい。

以上をまとめれば、高校教師のタイプを仕分ける指標として、第1に「人間志向」か「人間志向弱い」ということがあり、第2に、教職に「自信・自負あり」か「自信・自負なし」かということがある。この二つの指標によって、四つの教育観の構造（教師タイプ）が描ける。個人のライフサイクル（年齢）にそって、「モラトリアム教師」（20代・30代前半）→「スランプ教師」（30代後半）→「達観教師」（40代）→「円熟教師」（50代）という推移を示す。

非進学校は悩み多き「モラトリアム教師」と「スランプ教師」が多くなるのに対し、進学校は、教職に自負のある「円熟教師」や「達観教師」が多くなる。担当教科や役職によっても、教師タイプは多少変わってくるが、教師の年齢と学校格差の規定力がいちばん大きい。高校教師の成否はこの二つの要因の変化（変革）にかかっている。

## まとめに代えて●

昭和57年現在、高校の教師は24万4千人いる。教師が5人集まれば、そのうちほぼ1人が高校の教師ということになる。これは決して少ない数ではない。

しかし、これまで高校教師を対象とした、実証研究は乏しい。個々の経験に基づいた、断片的な高校教師論は二・三見られるが、それらからは、高校教師の全体像は浮かびあがってこない。そうしたなかで、今回私たちが意図したのは、高校教師の日常の行動や生徒観、それに教職観を通して、彼らの姿をうきほりにすることであった。

調査結果をふりかえってみると、まず第一に受けたのは、高校教師は、意外にも授業がでいねいで、きめ細かいという印象である。板書に気をくばり、ノートのとり方まで指導しているのである。高校の教師といえば、小・中学校とはちがひ、授業におけるきめ細かい心くばりは乏しいだろうと、思っていた。どちらかといえば、大学の講義調の授業をしているという先入観が強かったのである。ところが、生徒の質が変わったのか、それとも教師が変わったのか、授業行動からは、教師の熱心でいねいな姿が浮かんできたのである。

第二の印象は、授業を中心とした教育活動は、それなりに熱心であるが、それがあまりむくわれていないということである。多くの

高校教師は、家庭ではテレビより読書を好み、教材研究に時間をさいている。しかし、彼らの主たる悩みは、生徒の考えや行動についていけないことや、生徒の学力が低くて、教えがいがないことなどである。仕事に熱心ではあるが、新しいタイプの生徒の出現にとまどい悩む教師像が浮かんでくる。

もう一つの印象は、高校教師自身の高校時代は、勉強を中心とした生活を送り、しかも「優等生」であった。そして現在も職業柄を意識しており、ネクタイとビジネス・バッグに象徴されるように、きめられたレールを走っているきまじめな者たちということである。彼らは早くから教職を志望していたにもかかわらず、高校時代のクラブ活動を体験している者は3分の1たらずであり、異性との接触も乏しかった。高校時代の彼らの行動半径は狭くかたよったものであった。

これらの印象は、あくまで高校教師全体に関するものであるが、いうまでもなく、個々の教師は、年齢、性別、勤務校などさまざまな属性をもっている。そうした多くの属性の中で高校教師のタイプをうまく仕分けるものは、年齢と、勤務校が受験校かどうかである。

例えば、高齢の教師で非進学校に勤務している者は、生徒の学力が低く教えがいがないと悩み、生徒の考えや行動にとまどいついていけないと思っている。他方、若い教師で進

学校に勤務している者の悩みは、生徒の考えや行動に対してよりも、専門的力量や進路指導の自信のなさである。

円熟した教師ほど授業で勝負したい気持ちが強い。しかしそうした彼らが非進学校に赴任すると悩みが増え、授業中の生徒の反応の鈍さにいらだつ。他方、若い教師の悩みは専門的力量に自信がないに代表されるように、教師として「一人前」になる過程でだれでも体験するものである。その意味から若い教師の悩みはそれほど目新しいものでなく、いわば「生みの苦しみ」ともいえるものである。

教職にはさまざまな仕事がある。高校教師といえども、専門の授業はいうまでもなく、朝礼、終礼を行い担任する生徒の進路指導に力を入れている。したがって、必要に応じては家庭訪問や大学訪問、企業訪問までせざるをえない。そしてこうしたいいいな指導が近年、授業だけでなく生徒指導の中にまで求められている。

今、教職の仕事が大きく、授業を中心とした「skill-trainer」の役割と生徒の行動を理解する「take care」の役割に分けてみると、現在の高校教師のかかえる問題点が浮かびあがってくる。

教職に就いてからはほぼ15年ほどで授業に自信ができ一応の型ができるようだ。しかし40歳をすぎた教師は、さらに専門書に目を通し、

教材研究にも時間を多くさき、きめ細かい授業を行う。教職の専門性を高めようと自己修業をしながら円熟した教師をめざす。「skill-trainer」としての役割を果たそうとする。ところが、現実の生徒の反応は鈍い。多様な質をもった生徒の出現を考えると、残念ながら高齢の教師ほどこれまでの授業観を変えざるをえない。

高校の進学率が4～6割の時代に高校教師になった教師の描くプロとしての教師像は、「skill-trainer」が主流であったろう。それが、ほとんどの者が高校へ進学する今日、「skill-trainer」だけの教師では多くの学校で通用しなくなっている。生徒の行動を距離をおきながらも理解し、彼らとのヒューマンなふれあいを大切に、「take care」の担い手となることも要求される。

このように高校教師は多くの役割を期待されている。そうした役割への期待に応えるためには、これまでのライフスタイルを修正しなければならないだろう。教師たちの高校時代の生活体験は、幅の狭いものであった。そして現在も行動様式はあまりにも教師を意識したものとなっている。したがって、ライフスタイルを変えるにはまず自分たちの歩んできた道程は正統でないという自覚のもとに、好奇心を旺盛にしアンテナを高くした生活が望まれる。

● 資料1 調査票見本

1 最初に、先生ご自身のことについてお尋ねいたします。あてはまるものに○をつけてください。

A. 性別 1. 男 2. 女

B. 年齢 1. 25歳以下 2. 26～30歳 3. 31～34歳  
4. 35～39歳 5. 40～44歳 6. 45～49歳  
7. 50～59歳 8. 60歳以上

C. 担当教科 1. 英語 2. 国語 3. 数学 4. 社会  
5. 理科 6. 芸術・家庭 7. 体育 8. その他

(具体的に )

D. 出身学校 1. 教育系大学(国公立) 2. 教育系以外の大学(国公立)  
3. 教育系以外の大学(私立) 4. 大学院 5. 短期大学  
6. 師範学校 7. 旧制の専門学校 8. 旧制の大学(国公立)  
9. その他( )

E. 教職の経験年数 1. 3年以下 2. 4～6年 3. 7～9年 4. 10～14年  
5. 15～19年 6. 20～29年 7. 30年以上

F. 現在勤務している学校は国公立ですが、私立ですか。また、学校創立年はいつですか。1～6のあてはまる番号にひとつだけ○をつけてください。

設置別 学校創立年	国公立	私立
戦前	1	4
昭和24年～50年	2	5
昭和51年以降	3	6

G. これまで、次のような学校に勤務したことがありますか。現在の学校は含めないで経験あるものすべてに○をつけてください。

1. 創設が戦前的高校(普通科) 2. 創設が昭和24～50年の高校(普通科)  
3. 創設が昭和51年以降の高校(普通科) 4. 職業高校  
5. 定時制高校 6. 小・中学校

H. 現在勤務している学校は、何校目でしょうか。

1. 1校目    2. 2校目    3. 3校目    4. 4校目以上

I. 現在勤務している学校の生徒で、4年制大学進学希望者はどれくらいでしょうか。

1. 30%以下    2. 30~59%ぐらい    3. 60~79%ぐらい  
4. 80~89%ぐらい    5. 90%以上

J. あなたの勤務校では、共通一次受験者は、3年生のうちおよそどれくらいですか。

1. 2割以下    2. 3割くらい    3. 半数くらい  
4. 7割くらい    5. ほぼ全員(9割以上)

K. あなたは現在、クラスを担任していますか。

1. 担任している    2. 担任していない

L. あなたが顧問をしている主なクラブの種類は。

1. 運動系    2. 文化系    3. その他  
4. 顧問はしていない ( )

M. 現在の学校での係又は役職は何でしょうか。あてはまるものにひとつ○をつけてください。  
(二つ以上兼任している場合は主な方)

1. 校長・教頭    2. 教務    3. 総務    4. 進路指導  
5. 生活指導    6. 厚生・保健    7. 学年    8. 教科  
9. 係・役職は特にない

〈次に生徒との関係についてうかがいます〉

② あなたの学校には、次のような生徒はどの程度いると思いますか。A~Tのそれぞれについて、1~4のあてはまる場所に○をつけてください。

- |                          | とても<br>多い | かなり<br>いる | 少し<br>いる | ほとんど<br>いない |
|--------------------------|-----------|-----------|----------|-------------|
| A. 家で毎日、予習・復習をする……………    | 1         | 2         | 3        | 4           |
| B. ノートをきちんととる……………       | 1         | 2         | 3        | 4           |
| C. 大学進学をめざして熱心に勉強する…………… | 1         | 2         | 3        | 4           |
| D. どの科目の点も平均している……………    | 1         | 2         | 3        | 4           |

● 資料1 調査票見本

- |                               | とても<br>多い | かなり<br>いる | 少し<br>いる | ほとんど<br>いない |
|-------------------------------|-----------|-----------|----------|-------------|
| E. クラブ・部活動に打ち込む……………          | 1         | 2         | 3        | 4           |
| F. クラスの仕事をすすんで引き受ける……………      | 1         | 2         | 3        | 4           |
| G. 学校生活を楽しんでいる……………           | 1         | 2         | 3        | 4           |
| H. 37度の熱があっても無理して学校へ行く……………   | 1         | 2         | 3        | 4           |
| I. この学校の生徒であることに誇りを感じている…………… | 1         | 2         | 3        | 4           |
| J. 政治的・社会的関心が高い……………          | 1         | 2         | 3        | 4           |
| K. 異性とつきあっている……………            | 1         | 2         | 3        | 4           |
| L. 芸術的センスがある……………             | 1         | 2         | 3        | 4           |
| M. 学校の規則に反発を感じている……………        | 1         | 2         | 3        | 4           |
| N. 授業中によくおしゃべりをする……………        | 1         | 2         | 3        | 4           |
| O. 非行のきざしがある……………             | 1         | 2         | 3        | 4           |
| P. 学校でだれともあまり話さない……………        | 1         | 2         | 3        | 4           |
| Q. 何ごとにも無気力である……………           | 1         | 2         | 3        | 4           |
| R. 自分の意見をはっきりもっている……………       | 1         | 2         | 3        | 4           |
| S. テレビを1日に3時間以上みている……………      | 1         | 2         | 3        | 4           |
| T. 人の気持ちを察することができる……………       | 1         | 2         | 3        | 4           |

③ 先生ご自身の高校時代についてお尋ねいたします。A～Kのそれぞれについて、あてはまるところに○を付けてください。

- |                             | よく<br>した | かなり<br>した | 少し<br>した | ほとんど<br>しなかった |
|-----------------------------|----------|-----------|----------|---------------|
| A. 家で毎日子習・復習をした……………        | 1        | 2         | 3        | 4             |
| B. 大学進学をめざして熱心に勉強した……………    | 1        | 2         | 3        | 4             |
| C. クラブ・部活動に打ち込んだ……………       | 1        | 2         | 3        | 4             |
| D. クラスの仕事をすすんで引き受けた……………    | 1        | 2         | 3        | 4             |
| E. 学校生活を楽しいと感じた……………        | 1        | 2         | 3        | 4             |
| F. その高校の生徒であることに誇りを感じた…………… | 1        | 2         | 3        | 4             |

- G. 政治的・社会的関心が高かった…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4  
とても かなり 少し ほとんどない
- H. 異性とつきあった…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4  
よく かなり 少し ほとんど  
した した した しなかった
- I. 学校の規則に反発を感じた…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- J. 何事にも無気力だった…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- K. テレビを1日に3時間以上みた…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4

④ 次のようなことで生徒から相談されることがよくありますか。A～Hのそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

- A. 勉強の内容やしかた…………… 1 ——— 2 ——— 3  
よく ときどき ほとんど  
ある ある ない
- B. 卒業後の進路…………… 1 ——— 2 ——— 3
- C. クラブ活動のこと…………… 1 ——— 2 ——— 3
- D. 友人関係…………… 1 ——— 2 ——— 3
- E. 恋愛・異性関係…………… 1 ——— 2 ——— 3
- F. 学校や教師への不満…………… 1 ——— 2 ——— 3
- G. 家庭の問題…………… 1 ——— 2 ——— 3
- H. 人間としての生き方…………… 1 ——— 2 ——— 3

〈次に進路指導についておうかがいします。〉

⑤ 現在の勤務校の生徒がよく進学するような大学について、先生ご自身は次のことをどのくらい知っていますか。

- A. 講義内容や教授陣…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4  
とても かなり 少し ほとんど  
知っている 知っている 知っている 知らない
- B. 入試の難易度…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- C. 取得できる資格…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- D. 過去の入試の傾向…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- E. 就職状況…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4



- |                             | とても<br>知っている | かなり<br>知っている | 少し<br>知っている | ほとんど<br>知らない |
|-----------------------------|--------------|--------------|-------------|--------------|
| F. 学生生活の雰囲気.....            | 1            | 2            | 3           | 4            |
| G. 学風や大学の環境.....            | 1            | 2            | 3           | 4            |
| H. 生徒の関心に合った勉強ができるかどうか..... | 1            | 2            | 3           | 4            |

⑥ 生徒が進学する大学に対して、あなたはどのような期待をいただいていますか。

- |                                           | とても<br>そう思う | かなり<br>そう思う | 少し<br>そう思う | ほとんど<br>そう思わない |
|-------------------------------------------|-------------|-------------|------------|----------------|
| A. 生徒の関心に合った勉強ができるようなカリキュラムを用意してほしい.....  | 1           | 2           | 3          | 4              |
| B. 幅広い教養を身につけさせてほしい.....                  | 1           | 2           | 3          | 4              |
| C. しっかりした考え方や判断力を身につけさせてほしい.....          | 1           | 2           | 3          | 4              |
| D. 青春の一時期をゆっくり楽しませてほしい.....               | 1           | 2           | 3          | 4              |
| E. とにかく無事に卒業させてくれればよい.....                | 1           | 2           | 3          | 4              |
| F. 一流の就職ができるようにしてほしい.....                 | 1           | 2           | 3          | 4              |
| G. せめて1つぐらいは資格をとらせてほしい.....               | 1           | 2           | 3          | 4              |
| H. 授業は厳しくやってほしい.....                      | 1           | 2           | 3          | 4              |
| I. 一生つき合っていける友人が見つけれられるような環境をつくってほしい..... | 1           | 2           | 3          | 4              |

〈授業や生活指導についてうかがいます〉

⑦ ふだんの授業で次のことをどれくらいしていますか。

- |                        | とても<br>している | かなり<br>している | あまり<br>していない | まったく<br>していない |
|------------------------|-------------|-------------|--------------|---------------|
| A. 板書に気をくばっている.....    | 1           | 2           | 3            | 5             |
| B. ノートのとり方を指導している..... | 1           | 2           | 3            | 4             |
| C. 宿題や課題を出している.....    | 1           | 2           | 3            | 4             |

- |                                 | とても<br>している | かなり<br>している | あまり<br>していない | まったく<br>していない |
|---------------------------------|-------------|-------------|--------------|---------------|
| D. 小テストをたびたびしている……………           | 1           | 2           | 3            | 4             |
| E. 手作りの資料を使った授業をしている……          | 1           | 2           | 3            | 4             |
| F. 脱線して授業が終わることもある……………         | 1           | 2           | 3            | 4             |
| G. 教科書の順序にこだわらず授業をすす<br>める…………… | 1           | 2           | 3            | 4             |

⑧ 先生ご自身からみて **生徒たちが望む** 先生はどんな人だと思いますか。

- |                                   | とても<br>望む | かなり<br>望む | あまり<br>望まない | まったく<br>望まない |
|-----------------------------------|-----------|-----------|-------------|--------------|
| 1. 授業がわかりやすい先生……………               | 1         | 2         | 3           | 5            |
| 2. おそくまでクラブ活動を指導する先生……            | 1         | 2         | 3           | 4            |
| 3. どの生徒にも公平に接する先生……………            | 1         | 2         | 3           | 4            |
| 4. 授業中たまに脱線する先生……………              | 1         | 2         | 3           | 4            |
| 5. 悩みごとを一緒に考えてくれる先生……………          | 1         | 2         | 3           | 4            |
| 6. センスのよい服装を身につけている先<br>生……………    | 1         | 2         | 3           | 4            |
| 7. 専門についての知識がしっかりした先<br>生……………    | 1         | 2         | 3           | 4            |
| 8. 生徒にきまりを守らせることができ<br>る先生……………   | 1         | 2         | 3           | 4            |
| 9. 生徒に人気のあるマンガなどを読んで<br>いる先生…………… | 1         | 2         | 3           | 4            |

⑨ それでは、あなた自身が高く評価する先生は、⑧のうちではどれですか。高く評価する順に3番目まで番号で答えて下さい。

- 1番高く評価する先生 →
- 2番目に評価する先生 →
- 3番目に評価する先生 →

10 あなたは、日頃次のことをどれくらいしていますか。

- |                                  | ととも<br>している | かなり<br>している | 半分半分    | あまり<br>していない | まったく<br>していない |
|----------------------------------|-------------|-------------|---------|--------------|---------------|
| A. 授業では指導案や講義ノートを作<br>っている       | ..... 1     | ----- 2     | ----- 3 | ----- 4      | ----- 5       |
| B. 生徒の年賀状にはまめに返事をか<br>いている       | ..... 1     | ----- 2     | ----- 3 | ----- 4      | ----- 5       |
| C. 生徒の質問や相談には親身に答え<br>ている        | ..... 1     | ----- 2     | ----- 3 | ----- 4      | ----- 5       |
| D. タバコすっている生徒をみかける<br>と厳しく注意する   | ..... 1     | ----- 2     | ----- 3 | ----- 4      | ----- 5       |
| E. 担当する教科の専門書にはよく目<br>を通して       | ..... 1     | ----- 2     | ----- 3 | ----- 4      | ----- 5       |
| F. たいがい始業時間の30分前ぐら<br>いに学校へ着いている | ..... 1     | ----- 2     | ----- 3 | ----- 4      | ----- 5       |
| G. 37度ぐらいの熱でも無理して出勤<br>している      | ..... 1     | ----- 2     | ----- 3 | ----- 4      | ----- 5       |
| H. 生徒に人気のあるマンガや音楽に<br>接するようにしている | ..... 1     | ----- 2     | ----- 3 | ----- 4      | ----- 5       |
| I. クラブ活動を熱心に指導している               | ..... 1     | ----- 2     | ----- 3 | ----- 4      | ----- 5       |

〈次に教職親についてうかがいます。〉

11 A. 先生ご自身が教職につこうと思ったのは、いつごろでしょうか。

1. 小学生のころ
2. 中学生のころ
3. 高校生のころ
4. 大学（師範）へ入学してから
5. 大学（師範）の卒業が近づいたころ
6. 社会人になってから
7. 大学院のとき

B. 教職を志すのに強い影響を与えた人がいましたか。

1. いなかった

いた

→ (いたと答えた方に)

それはどのような人ですか。

2. 父、あるいは母が教員だった
3. きょうだい、祖父母、親戚に教員がいた
4. 小学校の教師
5. 中学校の教師
6. 高校の教師
7. 大学の教師
8. その他 (具体的に )

C. これまでに教職をやめたいとお考えになったことがありましたか。

1度も ない	1-2度 あった	数回 あった	いつも そう思っている
1	2	3	4

D. 教師以外の道を選ぶとしたら、あなたは、どんな仕事につきたいとお考えですか。

具体的に書いて下さい。

( )

12 あなたは「高校の教師」の仕事をどのように評価していますか。

- |                                |             |            |              |               |                |
|--------------------------------|-------------|------------|--------------|---------------|----------------|
|                                | とても<br>そう思う | まあ<br>そう思う | なんとも<br>いえない | あまり<br>そう思わない | ぜんぜん<br>そう思わない |
| A. 社会的に尊敬される仕事だ.....           | 1           | 2          | 3            | 4             | 5              |
| B. 経済的にめぐまれた仕事だ.....           | 1           | 2          | 3            | 4             | 5              |
| C. 精神的に気苦勞の多い仕事だ.....          | 1           | 2          | 3            | 4             | 5              |
| D. 時間にゆとりのある仕事だ.....           | 1           | 2          | 3            | 4             | 5              |
| E. 専門に関して高度の知識が必要な<br>仕事だ..... | 1           | 2          | 3            | 4             | 5              |
| F. 体力のいる仕事だ.....               | 1           | 2          | 3            | 4             | 5              |
| G. 生徒と接する喜びのある仕事だ.....         | 1           | 2          | 3            | 4             | 5              |
| H. 小中学校の教師より楽な仕事だ.....         | 1           | 2          | 3            | 4             | 5              |
| I. 大学の教師よりやりがいのある<br>仕事だ.....  | 1           | 2          | 3            | 4             | 5              |

13 高校教育について、次のような考え方がありますが、あなたはごどう思いますか。  
A～Gのそれぞれについてあてはまるところに○をつけてください。

- |                                     | そう思う    | どちらかど<br>いうと<br>そう思う | どちらかど<br>いうと<br>そうは思わない | そうは<br>思わない |
|-------------------------------------|---------|----------------------|-------------------------|-------------|
| A. 高校生ともなると、学力の差がひらくから学力別クラス編成をすべきだ | ..... 1 | ..... 2              | ..... 3                 | ..... 4     |
| B. 高校生をおとな扱いし、髪形や服装をもっと自由にすべきだ      | ..... 1 | ..... 2              | ..... 3                 | ..... 4     |
| C. テストの結果などを公表し、競争意識をつけさせるべきだ       | ..... 1 | ..... 2              | ..... 3                 | ..... 4     |
| D. 文化祭や運動会などを、もっと積極的に奨励すべきだ         | ..... 1 | ..... 2              | ..... 3                 | ..... 4     |
| E. 受験勉強は苦しみに耐える忍耐力が身につく             | ..... 1 | ..... 2              | ..... 3                 | ..... 4     |
| F. 受験のための勉強は、むしろ創造力を育てる上で害になる       | ..... 1 | ..... 2              | ..... 3                 | ..... 4     |
| G. 受験勉強でついた能力は、大学での学の基礎となる          | ..... 1 | ..... 2              | ..... 3                 | ..... 4     |

〈次に日頃の悩みや行動についてうかがいます〉

14 A. いま、あなたは次のような悩みをどのくらい感じていますか、あてはまるものに○をつけてください。

- |                        | とても<br>感じている | かなり<br>感じている | あまり<br>感じていない | まったく<br>感じていない |
|------------------------|--------------|--------------|---------------|----------------|
| 1. 生徒の考えや行動についていけない    | ..... 1      | ..... 2      | ..... 3       | ..... 4        |
| 2. 自分の専門的な力量に自信がない     | ..... 1      | ..... 2      | ..... 3       | ..... 4        |
| 3. 生徒が騒々しくて、授業が中断させられる | ..... 1      | ..... 2      | ..... 3       | ..... 4        |

- |                              | とても<br>感じている | かなり<br>感じている | あまり<br>感じていない | まったく<br>感じていない |
|------------------------------|--------------|--------------|---------------|----------------|
| 4. 生徒の学力レベルが低く教えが<br>ない      | ..... 1      | ————— 2      | ————— 3       | ————— 4        |
| 5. 自信をもって生徒の進路指導が<br>できない    | ..... 1      | ————— 2      | ————— 3       | ————— 4        |
| 6. クラブ活動の指導が負担になっ<br>ている     | ..... 1      | ————— 2      | ————— 3       | ————— 5        |
| 7. 校務分掌の仕事がうまくこなせ<br>ない      | ..... 1      | ————— 2      | ————— 3       | ————— 5        |
| 8. 同僚とのつき合いがうまくい<br>かない      | ..... 1      | ————— 2      | ————— 3       | ————— 5        |
| 9. 校長や教頭などと何かにつけて<br>意見が対立する | ..... 1      | ————— 2      | ————— 3       | ————— 5        |

B. 上記Aの中であなたが最も悩んでいるものは何ですか。 ( )  
ひとつだけ番号をかいてください。

C. では、あなたはその悩みを解決するのにどのようにすることが多いですか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

1. 同僚教師に相談する
2. 先輩・上司に相談する
3. 学校以外の教育相談機関に行く
4. 恩師に相談する
5. 本やマスコミの情報などに頼る
6. 友人に相談する
7. 自分だけで解決する
8. その他

**15** 職員室のあなたの席の周囲で日頃、次のような事柄はどのくらい話題になっていますか。あてはまるところに○をつけてください。

- |                          | よく<br>話題になる | 少し<br>話題になる | ほとんど<br>話題にならない |
|--------------------------|-------------|-------------|-----------------|
| A. 教科の進め方や指導技術など.....    | 1           | ————— 2     | ————— 3         |
| B. HRや教科で受けもちの生徒のこと..... | 1           | ————— 2     | ————— 3         |

	よく 話題になる	少し 話題になる	ほとんど 話題にならない
C. 部活動やその指導のこと……………	1	2	3
D. 教師間の人間関係やうわさなど……………	1	2	3
E. 最近読んだ本や雑誌のこと……………	1	2	3
F. 時事問題について……………	1	2	3
G. 教養番組や映画・音楽などのこと……………	1	2	3
H. 趣味やスポーツなどのこと……………	1	2	3
I. 家族や子どもの育児や教育などのこと……………	1	2	3
J. 校長や上司などのこと……………	1	2	3

16 あなたは、学校帰りにお茶やお酒を飲みに行く時、どんな先生と一緒のときが多いですか。ひとつに○をつけてください。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 同じ学年の先生    | 2. 同じ教科の先生    |
| 3. 年齢の近い先生    | 4. 同じ出身大学の先生  |
| 5. 校長、教頭、主任など | 6. その他 (具体的に) |
| 7. いかない       |               |

〈次に、学校への通勤やファッションについてうかがいます〉

17 A. 主な通勤手段は。

1. 電車・バス    2. バイク    3. 自転車    4. マイカー    5. 徒歩

B. 通勤のときの服装やスタイルについて、高校教師としての職業柄を意識していますか。あてはまるものに○をつけてください。

とても 意識する	かなり 意識する	やや 意識する	あまり 意識しない	ぜんぜん 意識しない
1	2	3	4	5

C. では、普段の通勤のときの服装やスタイルは主にどのようなものですか、次の中から比較的近いものを選んで、○をつけてください。

男の先生の場合

1. スーツ+ネクタイ
2. ブレザー+ネクタイ
3. ブレザー+ノーネクタイ

4. カジュアル・ウェア  
(セーター、ポロシャツ、ジャンパー、ジーンズなど)
5. スポーツ・ウェア (トレーナー、ジャージなど)
6. その他 (具体的に )

**女の先生の場合**

1. スーツやワンピース
2. カーディガン、セーターなどの軽装にスカート (スラックス)
3. カーディガン、セーターなどの軽装+ジーンズ
4. スポーツ、ウェア (トレーナー、ジャージなど)

D. 通勤のときのバッグ類は主にどのようなものを使っていますか、ひとつに○をつけてください。

1. 手提カバン、ビジネス・バッグ
2. アタッシュ・ケース
3. ショルダーバッグ
4. スポーツバッグ
5. ペーパーバッグ(紙袋)、布袋
6. 風呂敷
7. 何も持たない
8. その他 (具体的に )

〈最後に、余暇生活についてうかがいます。〉

**18** ふだんどのような本や雑誌を読んでいますか。よく読んでいるものすべてに○をつけてください。

1. 芸能、ファッション、スポーツ、趣味などの週刊誌や月刊誌
2. 時事、教養などの週刊誌や月刊誌
3. マンガ週刊誌やマンガの単行本
4. 月刊の教育誌や専門研究誌
5. 教育や専門に関する書籍
6. 小説や単行本、一般時事教養書など

**19** あなたは、日頃、次のような活動や学習をよくしていますか。よくしていることすべてに○をつけてください。

1. スポーツ (テニス、ゴルフ、野球、水泳など)
2. 音楽、美術、文学に関する活動
3. 趣味的活動 (将棋、囲碁、写真、手芸など)
4. 学習活動 (英会話、マイコンなど)
5. 海外旅行や国内の旅
6. 市民活動、住民運動、自治会活動
7. 子ども会やスポーツ少年団の世話



20 時間の使い方は、日によって違うと思いますが、ふつうの日、平均すると以下の時間はどのようになっていきますか。

A. 学校を出る時刻

- |          |         |          |
|----------|---------|----------|
| 1. 4時半以前 | 2. 4時半頃 | 3. 5時頃   |
| 4. 5時半頃  | 5. 6時頃  | 6. 6時半以降 |

B. 夜、テレビをみる時間

- |           |           |            |
|-----------|-----------|------------|
| 1. 30分くらい | 2. 1時間くらい | 3. 1時間半くらい |
| 4. 2時間以上  | 5. 3時間以上  | 6. 4時間以上   |

C. 帰宅後、授業の準備をする時間

- |           |           |            |
|-----------|-----------|------------|
| 1. 30分くらい | 2. 1時間くらい | 3. 1時間半くらい |
| 4. 2時間以上  | 5. 3時間以上  | 6. 4時間以上   |

D. 帰宅後、読書に費やす時間

- |           |           |            |
|-----------|-----------|------------|
| 1. 30分くらい | 2. 1時間くらい | 3. 1時間半くらい |
| 4. 2時間以上  | 5. 3時間以上  | 6. 4時間以上   |

21 あなたが自由に使うことができる小遣いは1か月どのくらいですか。

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 5千円くらい | 2. 1万円くらい | 3. 2万円くらい |
| 4. 3万円くらい | 5. 4万円くらい | 6. 5万円くらい |
| 7. 6万円以上  |           |           |

22 あなたは結婚していますか。

- |       |            |            |        |
|-------|------------|------------|--------|
| 1. 未婚 | 2. 既婚子どもなし | 3. 既婚子どもあり | 4. その他 |
|-------|------------|------------|--------|

→(既婚者の方におききます)

配偶者の職業は何ですか

- |                   |
|-------------------|
| 1. 教員             |
| 2. 教員以外のフルタイムの仕事  |
| 3. 教員以外のパートタイムの仕事 |
| 4. 専業主婦           |
| 5. その他 ( )        |

● 資料2 基礎集計表

計1,843人  
 回収数以外の数字は％  
 無回答・不明は省略してある  
 (選択肢の詳細については、資料1を参照のこと)

質問・選択肢		全体	性 別		年 齢 別						
			男子	女子	30歳以下	31-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50歳以上	
有効回収数(人数)		1,843	1,570	222	324	236	262	322	270	378	
I A	性別										
	男子	87.6	100.0		76.2	89.4	84.4	90.4	91.9	93.1	
	女子	12.4		100.0	23.8	10.6	15.6	9.6	8.1	6.9	
B	年齢	1. 30歳以下	17.9	15.7	34.6	100.0					
		2. 31-34歳	13.1	13.4	11.3		100.0				
		3. 35-39歳	14.4	14.1	18.5			100.0			
		4. 40-44歳	18.3	18.5	14.0				100.0		
		5. 45-49歳	15.2	15.8	9.9					100.0	
		6. 50歳以上	21.1	22.5	11.7						100.0
C	担当教科	1. 英語	20.8	20.6	24.3	24.0	22.8	21.7	16.7	19.8	20.7
		2. 国語	19.6	17.8	32.4	21.0	19.5	23.2	21.4	20.1	13.7
		3. 数学	19.0	20.7	6.8	15.9	18.3	18.6	22.9	17.3	20.2
		4. 社会	17.1	18.6	5.4	17.7	15.4	15.6	13.7	17.3	21.6
		5. 理科	14.5	15.7	4.5	11.9	14.9	9.9	16.7	15.1	17.1
		6. 芸術・家庭・体育・その他	9.0	6.6	26.6	9.5	9.1	11.0	8.6	10.4	6.7
D	出身学校	1. 教育系大学(国立私立)	32.7	33.0	29.7	19.5	23.0	38.6	47.6	40.8	27.0
		2. 教育系以外の国公立・旧制大学・その他	32.2	31.6	36.5	39.4	32.2	28.0	31.4	27.8	32.6
		3. 教育系以外の大学(私立)	26.3	26.5	25.2	33.8	33.9	28.4	19.5	27.8	18.9
		4. 大学院	4.4	4.8	2.3	6.7	10.9	5.0	1.5	2.2	2.1
		5. 短大・師範学校・旧制専門学校	4.4	4.1	6.3	0.6	0.0	0.0	0.0	1.4	19.4
E	教職の経験年数	1. 3年以下	7.8	6.5	17.5	42.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.5
		2. 4-6年	9.0	8.3	14.8	39.5	12.4	1.5	0.3	0.0	0.0
		3. 7-9年	10.6	10.9	8.1	17.3	49.4	4.5	0.9	1.1	0.3
		4. 10-14年	13.1	12.4	19.3	0.3	36.1	50.9	4.8	0.4	0.0
		5. 15-19年	18.9	19.2	17.0	0.6	0.4	42.3	61.0	6.1	2.8
		6. 20-29年	31.0	32.7	17.5	0.0	0.0	0.8	32.7	92.4	51.7
		7. 30年以上	9.6	10.0	5.8	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	44.7
F	現在の勤務校 創設年	戦前	51.9	53.2	41.9	43.5	43.1	49.5	58.6	55.6	57.8
		昭和24年～50年	27.5	27.1	30.2	31.5	30.4	30.8	23.4	27.5	24.0
		昭和51年以降	8.6	8.4	10.2	10.5	12.2	7.2	9.3	9.2	4.4
		私立	12.0	11.3	17.7	14.5	14.3	12.5	8.7	7.7	13.8
G	他校の勤務経験	1. 創設が戦前の高校(普通科)	42.2	43.0	34.5	14.6	24.5	38.1	50.6	61.6	58.2
		2. 創設が昭和24～50年の高校(普通科)	29.8	30.7	23.3	11.2	24.9	35.1	33.3	31.9	40.8
		3. 創設が昭和51年以降の高校(普通科)	2.8	3.0	0.9	3.6	3.3	1.5	2.1	1.4	4.1
		4. 職業高校	28.6	29.7	20.2	7.9	23.7	35.1	33.3	38.0	34.4
		5. 定時制高校	20.6	22.1	10.3	6.7	17.0	24.5	21.1	32.3	23.3
		6. 小・中学校	15.5	15.9	13.5	3.3	4.1	9.8	8.9	29.4	32.3
H	現在は何の校動目標	1. 1校目	20.0	18.5	33.2	60.4	26.6	14.3	6.8	5.4	7.4
		2. 2校目	25.4	25.2	26.9	33.2	49.4	26.8	28.9	11.5	10.3
		3. 3校目	24.7	24.8	21.1	4.3	20.3	37.4	40.8	29.0	19.0
		4. 4校目以上	29.9	31.5	18.8	2.1	3.7	21.5	23.5	54.1	63.3
I	現在動向 大学進学希望者4	1. 30%以下	24.9	23.8	32.4	32.3	29.4	27.7	20.7	21.7	20.1
		2. 30-59%ぐらい	22.7	22.7	23.1	25.4	22.7	25.4	21.6	19.9	21.6
		3. 60-79%ぐらい	18.8	18.4	20.4	13.9	19.3	21.2	18.0	24.3	17.5
		4. 80-89%ぐらい	11.3	11.5	8.8	8.0	9.7	9.2	14.4	9.8	14.9
		5. 90%以上	22.3	23.6	15.3	20.4	18.9	16.5	25.3	24.3	25.9

	質問・選択肢	全体	性別		年齢別						
			男子	女子	30歳以下	31-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50歳以上	
J	現在勤務校での 一次受検者	1. 2割以下	45.5	44.1	54.3	58.0	54.4	47.7	38.2	39.4	38.4
		2. 3割くらい	20.6	20.5	21.2	16.5	18.0	23.3	23.2	22.7	19.7
		3. 半数くらい	12.0	12.0	11.1	8.6	11.3	13.0	12.5	11.2	15.0
		4. 7割くらい	14.6	15.5	8.3	8.9	12.1	10.3	19.0	19.5	16.8
		5. ほぼ全員(9割以上)	7.3	7.9	5.1	8.0	4.2	5.7	7.1	7.2	10.1
K	担任	1. 担任している	53.0	55.0	38.6	59.5	76.3	69.1	62.2	35.3	26.9
		2. 担任していない	47.0	45.0	61.4	40.5	23.7	30.9	37.8	64.7	73.1
L	クラブ顧問	1. 運動系	50.0	54.6	17.5	60.0	61.2	56.2	55.2	46.0	29.4
		2. 文化系	40.4	35.5	76.2	35.7	33.9	38.6	39.2	47.1	45.8
		3. その他	0.9	0.9	1.0	0.7	0.9	1.2	0.9	0.4	1.1
		4. 顧問はしていない	8.7	9.0	5.3	3.6	4.0	4.0	4.7	6.5	23.7
M	勤務校での係・役職	1. 校長・教頭	2.9	3.1	0.5	0.0	0.4	0.0	0.0	0.4	13.3
		2. 教務・総務・教科	20.8	19.3	33.2	28.3	20.8	18.4	18.9	20.3	18.1
		3. 進路指導	41.6	43.8	29.6	32.4	41.6	43.3	45.6	48.2	39.7
		4. 生活指導・厚生・保健	15.8	14.8	21.9	20.3	19.5	17.1	17.9	13.8	8.6
		5. 学年	13.5	13.7	8.2	10.0	11.5	15.1	13.4	14.2	16.1
		6. 係・役職は特にない	5.4	5.3	6.6	9.0	6.2	6.1	4.2	3.1	4.2
	あなたの学校には次のような生徒はどの程度いるか(とても多い+かなりいる)の割合										
2	1. 家で毎日予習・復習をする	40.9	41.3	37.1	29.6	28.4	35.2	44.7	47.4	54.1	
	2. ノートをきちんととる	85.5	85.6	86.5	86.6	87.1	83.0	85.1	85.6	85.3	
	3. 大学進学をめざして熱心に勉強する	47.4	48.2	41.9	34.5	34.6	41.7	55.5	52.2	59.7	
	4. どの科目の点も平均している	49.4	50.1	43.9	40.5	41.4	44.7	53.8	55.4	57.1	
	5. クラブ・部活動に打ち込む	58.7	59.1	57.4	49.4	53.1	57.9	57.6	61.4	69.9	
	6. クラスの仕事をすすんで引き受ける	18.0	19.2	11.3	11.2	12.8	16.6	20.6	20.7	23.7	
	7. 学校生活を楽しくしている	69.8	71.1	62.7	61.5	64.2	66.7	70.5	72.0	80.2	
	8. 37度の熱があっても学校へ行く	21.0	20.9	21.6	17.0	14.5	21.7	25.7	18.6	25.3	
	9. この学校の生徒であることに誇りを感じている	47.8	48.2	44.0	33.3	33.2	40.6	56.0	57.1	60.5	
	10. 政治的・社会的関心が高い	8.0	8.4	6.8	5.5	6.2	5.3	9.3	7.6	12.4	
	11. 異性とつきあっている	34.3	32.4	47.1	39.2	38.8	36.8	36.5	29.0	27.6	
	12. 芸術的センスがある	12.0	11.7	15.9	8.2	5.8	8.8	14.0	13.4	18.6	
	13. 学校の規則に反発を感じている	33.0	31.6	44.8	52.0	39.6	39.4	30.5	20.6	19.3	
	14. 授業中によくおしゃべりする	31.7	30.4	40.4	48.0	37.1	35.5	24.5	23.1	24.4	
	15. 非行のきざしがある	9.9	9.7	11.8	13.4	14.5	14.0	8.7	6.5	4.9	
	16. 学校でだれともあまり話さない	0.9	0.9	0.0	0.3	0.8	0.8	1.2	0.7	1.3	
	17. 何事にも無気力である	25.2	25.0	27.5	33.1	31.5	30.3	20.3	22.1	17.5	
	18. 自分の意見をはっきりもっている	26.4	27.2	21.6	11.2	18.2	20.9	27.6	30.8	43.9	
	19. テレビを1日に3時間以上みている	50.0	49.5	54.7	65.3	55.3	54.9	45.3	42.2	40.0	
	20. 人の気持ちを察することができる	37.3	36.7	42.8	26.9	31.7	32.3	41.1	36.9	50.4	
	ご自身の高校時代のような(よくした+かなりした)の割合										
3	1. 家で毎日予習・復習をした	53.9	52.8	60.3	46.3	43.9	53.2	59.2	58.9	58.3	
	2. 大学進学をめざして熱心に勉強した	64.3	64.2	65.8	64.3	59.8	69.8	66.7	69.1	57.4	
	3. クラブ・部活動に打ち込んだ	35.7	35.7	33.7	43.2	38.6	32.5	31.8	33.1	35.3	
	4. クラスの仕事をすすんで引き受けた	29.2	29.0	31.6	29.2	25.4	27.6	26.4	28.5	35.6	
	5. 学校生活を楽しいと感じた	54.9	54.3	56.8	60.5	50.6	41.3	52.4	58.4	61.7	
	6. その高校の生徒であることに誇りを感じた	66.7	66.7	68.5	63.5	59.0	62.5	68.1	70.9	71.2	
	7. 政治的・社会的関心が高かった	35.5	36.1	27.1	34.0	38.2	37.0	33.4	32.4	37.9	
	8. 異性とつきあった	5.7	5.6	4.6	9.7	8.7	4.6	5.4	1.8	3.9	
	9. 学校の規則に反発を感じた	8.8	8.5	8.8	12.9	16.1	6.8	5.1	6.9	6.8	
	10. 何事にも無気力だった	3.7	3.4	4.6	4.2	1.7	3.8	3.9	4.8	3.5	
	11. テレビを1日に3時間以上みた	4.1	4.0	4.4	8.5	8.0	1.9	1.5	2.1	2.5	

	質問・選択肢	全体	性別		年齢別					
			男子	女子	30歳以下	31-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50歳以上
	次のようなことで生徒から相談されることがよくあるか(よくある)の割合									
	1. 勉強の内容やしかた	22.7	22.2	26.1	25.8	25.3	17.4	25.1	18.4	22.9
	2. 卒業後の進路	34.0	34.4	33.8	24.9	36.9	37.7	40.6	30.7	34.2
	3. クラブ活動のこと	9.1	8.7	10.8	10.9	9.2	7.9	12.0	9.4	5.7
4	4. 友人関係	3.1	2.6	6.8	5.2	5.4	2.6	2.1	1.4	2.1
	5. 恋愛・異性関係	1.7	1.3	5.0	4.0	2.1	0.8	0.6	0.4	2.3
	6. 学校や教師への不満	5.8	5.1	10.8	10.9	9.1	4.9	4.5	2.5	3.6
	7. 家庭の問題	1.9	1.5	3.6	1.5	1.7	1.1	3.0	2.2	1.8
	8. 人間としての生き方	3.2	2.8	5.9	2.4	1.7	3.4	3.6	4.3	3.4
	現在の勤務校の生徒が進学する大学について知っていること(とても知っている+かなり知っている)の割合									
	1. 講義内容や教授陣	13.7	14.3	9.1	5.8	7.0	10.6	15.1	12.3	26.3
	2. 入試の難易度	73.2	76.0	52.3	43.8	70.9	74.0	76.1	78.3	84.0
	3. 取得できる資格	56.6	59.2	37.8	32.2	47.1	59.2	61.8	65.7	69.7
	4. 過去の入試の傾向	46.4	47.7	35.1	20.3	37.8	46.0	53.5	55.1	61.2
	5. 就職状況	27.7	29.3	15.8	11.2	18.3	28.3	26.9	34.4	42.8
	6. 学生生活の雰囲気	24.4	25.6	16.0	14.9	18.4	21.9	23.9	26.1	36.8
	7. 学風や大学の環境	34.0	35.7	22.8	18.2	27.1	33.3	34.0	38.2	49.1
	8. 生徒の関心に合った勉強ができるかどうか	20.9	21.8	13.4	11.0	15.8	15.7	20.7	23.6	33.8
	生徒が進学する大学について期待(とてもそう思う+かなりそう思う)の割合									
	1. 生徒の関心に合ったカリキュラムを用意して	71.2	70.7	74.4	73.1	67.4	69.3	68.5	72.9	74.5
	2. 幅広い教養を身につけさせてほしい	79.7	79.9	76.1	75.9	76.7	76.8	76.0	83.8	87.0
	3. しっかりした考え方を身につけさせて	90.7	90.6	89.3	85.9	88.8	87.8	91.9	92.4	95.4
	4. 青春の一時をゆっくり楽しませてほしい	20.6	20.6	18.2	28.2	18.6	15.6	19.3	16.0	23.1
	5. とにかく無事に卒業させてくれればよい	3.5	3.7	0.9	3.1	1.2	4.2	2.4	3.3	5.7
	6. 一流の就職ができるようにしてほしい	32.0	33.1	23.8	27.1	24.5	34.6	27.5	31.1	43.9
	7. せめて1つくらいは資格をとらせてほしい	44.1	43.3	48.3	40.8	32.4	41.6	44.7	45.2	54.6
	8. 授業は厳しくやってほしい	81.6	81.3	82.2	68.0	71.7	81.4	82.5	90.9	91.9
	9. 一生つきあえる友人が見つけれられる環境をつくってほしい	74.0	74.0	70.9	77.3	70.8	68.7	72.5	75.9	76.8
	ふだんの授業で次のことをどれくらいしているか(とてもしている+かなりしている)の割合									
	1. 板書に気をくばっている	74.8	74.9	74.6	66.5	66.7	70.0	77.0	80.1	84.4
	2. ノートのとり方を指導している	49.0	48.9	49.8	34.6	41.7	48.1	53.9	56.0	56.9
	3. 宿題や課題を出している	50.7	49.3	61.3	41.0	38.4	48.7	55.7	57.3	59.5
	4. 小テストをたびたびしている	43.3	42.2	50.3	41.0	38.3	45.0	43.1	43.5	47.0
	5. 手作りの資料を使った授業をしている	53.5	52.5	63.0	57.1	49.3	52.3	56.3	50.0	53.9
	6. 脱線して授業が終わることもある	18.2	19.0	10.6	21.0	20.4	21.3	15.6	15.7	16.5
	7. 教科書の順序にこだわらず授業をすすめる	44.8	43.4	44.2	45.5	45.0	46.0	45.9	41.8	40.0
	先生ご自身からみて(生徒たちが望む)先生はどんな人か(とても望む+かなり望む)の割合									
	1. 授業がわかりやすい先生	98.7	98.7	100.0	98.5	99.6	98.5	98.8	98.9	98.5
	2. おそくまでクラブ活動を指導する先生	72.7	72.6	74.3	79.9	76.2	72.6	72.3	71.7	65.4
	3. どの生徒にも公平に接する先生	98.4	98.2	100.0	99.1	100.0	98.1	97.9	98.2	97.7
	4. 授業中たまに脱線する先生	69.5	68.6	76.7	79.6	78.7	78.7	66.5	61.4	57.2
	5. 悩みごとを一緒に考えてくれる先生	81.1	80.5	85.4	84.8	76.3	78.4	81.7	80.7	82.9
	6. センスのよい服装を身につけている先生	28.2	25.8	43.0	27.3	20.5	17.8	27.5	32.5	38.6
	7. 専門についての知識がしっかりした先生	91.3	91.2	92.2	84.5	87.9	89.4	93.7	95.3	95.6
	8. 生徒にきまりを守らせることができる先生	65.2	66.4	58.8	57.4	60.8	62.5	61.1	72.5	75.0
	9. 生徒に人気のあるマンガなどを読んでいる先生	15.8	14.8	23.2	19.4	12.9	18.1	15.4	14.9	13.8
	8)のうちあなた自身が最も高く評価する先生は、の割合									
	1. 授業がわかりやすい先生	48.2	47.8	50.9	48.7	53.3	48.5	46.3	47.3	46.8
	2. おそくまでクラブ活動を指導する先生	0.6	0.7	0.0	2.1	0.4	0.4	0.6	0.0	0.0
	3. どの生徒にも公平に接する先生	13.5	13.2	14.7	15.2	12.1	11.1	14.6	11.6	15.1
	4. 授業中たまに脱線する先生	0.4	0.5	0.0	0.6	0.4	1.5	0.0	0.0	0.3
	5. 悩みごとを一緒に考えてくれる先生	5.0	5.1	5.0	9.4	5.4	5.3	3.6	2.9	3.4

● 資料 2 基礎集計表

	質問・選択肢	全体	性別		年齢別					
			男子	女子	30歳以下	31-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50歳以上
9	6. センスのよい服装を身につけている先生	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	7. 専門についての知識がしっかりした先生	29.1	29.4	27.1	20.7	23.8	30.9	31.6	35.3	31.3
	8. 生徒にきまりを守らせることができる先生	3.2	3.3	2.3	3.3	4.6	2.3	3.3	2.9	3.1
	9. 生徒に人気のあるマンガなどを読んでいる先生	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
あなたは日頃次のことをどれくらいしていますか(とてもしている+かなりしている)の割合										
10	1. 授業では指導案や講義ノートを作っている	37.6	36.0	49.6	40.6	38.0	32.4	33.4	34.6	44.0
	2. 生徒の年賀状にはまめに返事をかいている	70.1	68.9	79.1	73.6	66.4	72.9	72.7	66.1	68.9
	3. 生徒の質問や相談には親身に答えている	92.5	92.7	94.6	90.7	91.6	92.8	91.6	93.9	94.6
	4. タバコをすっている生徒を厳しく注意する	90.8	92.2	79.5	83.9	91.6	90.6	93.4	93.7	91.7
	5. 担当教科の専門書にはよく目を通している	65.3	65.3	66.1	60.1	59.0	63.7	63.0	71.6	72.0
	6. たいてい始業の30分前位に学校に着いている	53.5	55.4	39.4	49.4	42.0	47.8	51.9	61.2	63.9
	7. 37度位の熱でも無理して出勤する	63.5	63.8	60.5	65.6	65.2	63.7	65.0	61.4	61.0
	8. 生徒に人気のあるマンガや音楽に接するようにしている	6.8	6.5	7.7	16.3	5.9	4.5	5.7	4.4	3.7
	9. クラブ活動を熱心に指導している	27.1	27.6	23.1	31.5	33.2	27.2	28.8	25.8	18.8
A. ご自身が教職につこうと思った時期は										
11	1. 小学生のころ	7.1	6.2	12.2	9.5	5.9	5.7	8.7	6.1	6.0
	2. 中学生のころ	11.3	11.4	10.0	9.8	8.4	13.4	15.7	10.8	9.9
	3. 高校生のころ	24.6	25.7	17.2	22.2	20.5	29.8	29.2	29.8	17.7
	4. 大学(師範)へ入学してから	19.7	19.7	19.9	19.1	19.2	20.2	20.2	19.8	19.7
	5. 大学(師範)の卒業が近づいたころ	27.0	26.6	30.3	32.3	32.6	24.4	19.3	25.9	28.3
	6. 社会人になってから	8.5	8.6	8.1	4.0	9.2	4.6	6.0	7.6	17.4
	7. 大学院のとき	1.8	1.8	2.3	3.1	4.2	1.9	0.9	0.0	1.0
B. 教職を志すのに強い影響を与えた人がいたか										
11	1. いなかった	55.4	55.6	52.7	53.4	68.5	54.1	46.7	55.5	57.4
	2. 父あるいは母が教員だった	9.9	10.1	10.3	6.7	6.8	7.9	13.9	11.0	11.5
	3. きょうだい、祖父母、親せきに教員がいた	3.8	4.0	2.6	2.0	1.4	2.9	6.3	4.7	4.7
	4. 小学校の教師	5.1	4.6	7.2	4.7	3.7	6.3	7.6	1.6	5.8
	5. 中学校の教師	6.3	6.4	5.6	6.4	4.6	7.1	7.3	8.7	4.4
	6. 高校の教師	12.9	12.6	15.4	20.1	8.2	16.3	10.6	13.0	9.1
	7. 大学の教師	2.9	2.8	3.6	3.7	4.1	2.9	2.6	1.2	2.7
	8. その他	3.7	3.9	2.6	3.0	2.7	2.5	5.0	4.3	4.4
C. 教職をやめたいと考えたことがあるか										
11	1. 1度もない	37.6	39.6	23.3	35.0	34.1	35.6	37.7	43.4	39.6
	2. 1~2度あった	34.2	33.5	38.8	32.5	32.1	36.4	35.9	31.4	35.8
	3. 数回あった	22.7	21.5	32.9	26.0	22.4	22.6	23.1	22.0	20.2
	4. いつもそう思っている	5.5	5.4	5.0	6.5	11.4	5.4	3.3	3.2	4.4
D. 教師以外の道を選ぶとすればどんな仕事につきたいか										
11	1. 医師・弁護士	10.2	10.6	7.2	5.7	5.2	10.3	9.8	13.4	14.9
	2. 研究者・評論家	23.5	22.4	31.5	27.5	27.5	27.0	15.4	18.2	25.5
	3. 技術者など	17.3	17.9	12.4	13.9	17.4	11.9	22.7	17.2	19.4
	4. ジャーナリスト	12.6	12.1	17.6	11.4	11.6	11.9	15.4	14.4	11.1
	5. 商社・サラリーマン	16.5	17.7	7.8	18.4	16.3	17.3	18.8	15.3	13.9
	6. 芸術家・スポーツ選手	4.6	4.0	7.8	7.3	7.0	6.5	3.0	2.4	2.4
	7. 自営	5.5	4.8	9.8	6.5	8.1	5.4	3.8	6.2	3.8
	8. 自然(農業など)	8.5	9.4	2.6	6.9	5.2	8.6	11.1	11.0	8.0
	9. その他	1.3	1.1	3.3	2.4	1.7	1.1	0.0	1.9	1.0
「高校の教師」の仕事に対する評価(とてもそう思う+まあそう思う)の割合										
12	1. 社会的に尊敬される仕事だ	49.2	50.7	40.3	46.3	38.9	49.4	47.5	49.6	58.8
	2. 経済的にめぐまれた仕事だ	12.2	11.3	20.1	14.1	10.0	14.5	8.8	10.1	15.0
	3. 精神的に気苦労の多い仕事だ	89.2	89.1	90.0	89.9	90.8	91.2	87.7	89.2	87.3
	4. 時間にゆとりのある仕事だ	19.5	19.3	17.7	18.8	15.1	15.2	21.1	19.1	24.6
	5. 専門に関して高度の知識が必要な仕事だ	77.1	76.3	80.5	76.4	71.1	71.4	76.8	79.8	83.5

	質問・選択肢	全体	性別		年齢別					
			男子	女子	30歳以下	31-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50歳以上
12	6. 体力のいる仕事だ	78.8	77.8	84.5	84.1	82.8	77.9	76.5	74.8	77.0
	7. 生徒と接する喜びのある仕事だ	86.2	86.0	88.7	87.7	81.6	85.1	85.8	87.0	88.4
	8. 小・中学校の教師より楽な仕事だ	28.7	29.0	25.6	25.8	26.8	27.9	27.5	31.6	31.5
	9. 大学の教師よりやりがいのある仕事だ	32.6	31.8	37.9	40.0	32.7	29.5	29.4	28.8	34.1
高校教育についての考え方に対する意見(そう思う+どちらかという+そう思う)の割合										
13	1. 学力別クラス編成をすべきだ	52.3	54.3	39.2	48.0	47.9	50.2	51.2	53.4	60.0
	2. 髪形や服装をもっと自由にすべきだ	31.2	29.5	38.8	32.0	29.6	34.1	33.5	29.6	28.7
	3. 競争意識をつけさせるべきだ	36.9	38.9	21.9	34.3	34.6	33.3	35.3	39.2	42.1
	4. 文化祭や運動会などを積極的に奨励すべきだ	74.2	73.7	76.3	86.9	81.7	77.3	73.1	74.7	56.9
	5. 受験勉強は忍耐力が身につく	65.5	65.3	68.1	57.8	56.3	59.2	64.1	71.5	79.0
	6. 受験勉強は創造力を育てる上で害になる	50.0	48.5	59.8	50.3	56.5	57.3	49.5	46.2	43.9
	7. 受験勉強でついた能力は、大学での基礎となる	62.6	63.4	58.6	59.0	55.5	55.7	63.2	67.2	70.6
A. 今あなたは次のような悩みをどのくらい感じているか(とても感じている+かなり感じている)の割合										
14	1. 生徒の考えや行動についていけない	44.4	43.7	48.7	35.3	39.3	46.8	45.1	45.8	52.2
	2. 自分の専門的な力量に自信がない	21.7	19.6	37.3	38.0	25.9	23.8	19.2	11.5	13.5
	3. 生徒が騒々しくて、授業が中断させられる	11.0	10.0	18.0	19.9	11.7	10.6	8.1	7.2	8.8
	4. 生徒の学力レベルが低く教えがいがない	30.5	30.5	29.8	31.9	31.7	34.0	25.1	33.2	29.2
	5. 自信をもって生徒の進路指導ができない	24.1	21.5	43.8	40.1	24.6	26.4	19.7	16.6	18.0
	6. クラブ活動の指導が負担になっている	23.9	23.7	23.7	23.6	27.1	24.8	24.6	22.7	21.5
	7. 校務分掌の仕事がうまくこなせない	8.8	8.6	11.4	12.5	7.1	8.7	8.7	6.1	9.0
	8. 同僚とのつき合いがうまくいかない	7.0	6.9	6.8	6.1	6.6	9.9	9.0	5.0	5.5
	9. 校長や教頭などと意見が対立する	15.5	15.4	12.7	14.9	20.4	20.7	17.3	13.3	9.4
B. 上記Aのうち最も悩んでいるものは										
14	1. 生徒の考えや行動についていけない	25.9	25.9	25.0	19.0	20.1	29.2	25.6	29.5	31.6
	2. 自分の専門的な力量に自信がない	12.8	11.7	21.4	25.0	15.1	10.0	7.7	8.6	8.6
	3. 生徒が騒々しくて、授業が中断させられる	5.2	5.2	6.3	9.2	5.0	6.8	2.3	5.4	2.3
	4. 生徒の学力レベルが低く教えがいがない	18.0	18.8	12.0	10.8	20.1	16.7	18.0	22.2	21.9
	5. 自信をもって生徒の進路指導ができない	11.3	11.0	13.5	17.0	11.6	6.8	12.3	8.1	10.3
	6. クラブ活動の指導が負担になっている	12.2	12.6	8.3	8.9	14.1	11.4	15.3	12.2	11.6
	7. 校務分掌の仕事がうまくこなせない	3.0	3.2	2.6	1.3	3.0	3.2	3.4	3.6	4.0
	8. 同僚とのつき合いがうまくいかない	4.8	4.8	5.2	3.6	4.0	6.8	5.4	5.0	4.7
	9. 校長や教頭などと意見が対立する	6.8	6.8	5.7	5.2	7.0	8.7	10.0	5.4	5.0
C. その悩みを解決するのにどのようにすることが多いか										
14	1. 同僚教師に相談する	40.1	38.9	47.9	38.3	40.8	44.6	41.1	40.2	37.5
	2. 先輩・上司に相談する	7.4	7.5	7.2	16.2	7.2	6.0	6.1	4.4	3.4
	3. 学校以外の教育相談機関に行く	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.3
	4. 恩師に相談する	0.6	0.5	1.0	1.3	0.5	0.9	0.4	0.4	0.0
	5. 本やマスコミの情報等に頼る	8.8	9.4	5.2	5.8	4.8	9.0	10.1	10.1	12.2
	6. 友人に相談する	3.5	3.1	5.7	5.5	3.3	2.6	4.0	2.2	2.7
	7. 自分だけで解決する	32.9	34.1	25.3	26.9	36.8	29.2	32.9	35.7	36.6
	8. その他	6.6	6.4	7.7	5.8	6.7	7.3	5.4	7.0	7.3
職員室のあなたの周囲で話題になる事柄(よく話題になる)の割合										
15	1. 教科の進め方や指導技術など	42.7	41.6	49.3	36.7	31.3	35.8	46.1	43.6	56.1
	2. HRや教科で受けもちの生徒のこと	70.4	68.9	79.5	72.5	70.8	72.5	69.6	65.5	71.5
	3. 部活動やその指導のこと	19.3	19.1	21.5	19.9	16.7	15.9	20.1	19.9	21.9
	4. 教師間の人間関係やうわさなど	13.7	13.4	15.1	20.8	18.4	14.0	11.1	9.8	9.5
	5. 最近読んだ本や雑誌のこと	11.9	10.7	20.1	14.8	9.2	12.9	11.4	12.1	10.8
	6. 時事問題について	26.1	26.3	26.0	29.4	23.3	27.0	24.6	23.7	27.9
	7. 教養番組や映画・音楽などのこと	6.4	5.6	12.8	9.2	4.6	7.2	5.4	6.2	5.8
	8. 趣味やスポーツなどのこと	22.5	23.1	19.6	26.9	25.9	23.5	21.0	19.2	19.7
	9. 家族や子どもの育児や教育などのこと	7.7	7.3	11.0	7.4	10.8	10.6	6.9	4.3	7.1
	10. 校長や上司などのこと	11.6	12.2	8.7	16.0	12.9	16.3	9.6	7.6	8.4

	質問・選択肢	全体	性別		年齢別						
			男子	女子	30歳以下	31-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50歳以上	
16	学校帰り、お茶やお酒を飲みに行く時、どんな先生と一緒にいることが多いか										
	1. 同じ学年の先生	17.6	18.3	11.2	10.4	22.3	19.6	24.1	16.9	14.3	
	2. 同じ教科の先生	18.3	18.9	15.0	13.2	13.7	19.6	17.0	26.5	20.3	
	3. 年齢の近い先生	28.9	27.9	35.0	58.1	34.8	28.3	20.8	17.6	14.9	
	4. 同じ出身大学の先生	0.2	0.2	0.5	0.3	0.0	0.0	0.3	0.4	0.3	
	5. 校長、教頭、主任など	1.1	1.3	0.0	0.3	1.3	0.0	0.0	1.1	3.2	
	6. その他	13.8	13.9	11.7	6.3	11.6	12.5	18.9	15.7	16.8	
	7. 行かない	20.1	19.5	26.6	11.4	16.3	20.0	18.9	21.8	30.2	
17	学校への通勤手段やファッションについて										
	1. マイカー通勤である	54.5	56.1	42.1	52.8	60.4	59.6	63.7	52.4	42.7	
	2. 通勤時の服装兼業柄をとても+かなり意識	28.7	28.3	32.9	25.3	18.4	21.7	31.1	31.7	38.6	
	3. (男性)通勤の時スーツ+ネクタイ	43.4	43.1		22.1	22.2	32.7	42.3	54.7	71.1	
	4. (女性)通勤の時スーツやワンピース	31.6		30.7	11.6	23.1	29.7	45.5	37.0	65.6	
	5. 手さげカバン、ビジネスバッグで通勤	41.5	40.8	47.0	34.0	30.6	35.0	45.0	43.9	53.8	
18	ふだん、どのような本や雑誌をよく読むか										
	1. スポーツ、趣味などの週刊誌や月刊誌	23.9	24.1	23.3	35.9	24.1	21.9	22.6	20.4	19.0	
	2. 時事、教養などの週刊誌や月刊誌	35.3	35.7	35.0	33.4	31.5	30.9	34.5	37.6	41.0	
	3. マンガ週刊誌やマンガの単行本	4.8	4.2	8.5	17.3	5.8	3.8	0.9	0.7	0.5	
	4. 月刊の教育誌や専門研究誌	36.1	36.1	35.0	29.5	32.4	36.6	34.2	43.4	40.0	
	5. 教育や専門に関する書籍	47.1	46.8	46.2	48.6	42.3	47.9	44.9	45.9	50.8	
	6. 小説や単行本、一般時事教養書など	63.1	61.0	79.4	67.8	62.7	68.7	61.3	59.5	59.7	
19	日頃、次のような活動や学習をよくする割合										
	1. スポーツ(テニス、ゴルフ、野球、水泳など)	38.5	40.5	23.3	50.2	46.1	39.2	42.0	34.4	23.6	
	2. 音楽、美術、文学に関する活動	30.1	27.2	51.6	43.8	29.9	31.7	23.2	23.7	27.9	
	3. 趣味的活動(将棋、囲碁、写真、手芸など)	42.1	42.6	39.9	38.0	44.0	40.4	45.2	43.7	42.1	
	4. 学習活動(英会話、マイコンなど)	16.1	16.5	13.5	18.5	18.7	14.3	16.7	13.3	15.1	
	5. 海外旅行や国内の旅	14.1	13.1	22.0	10.0	15.4	9.8	12.5	14.0	21.0	
	6. 市民活動、住民運動、自治会活動	7.9	8.1	6.3	6.1	5.8	9.4	7.1	11.8	7.7	
	7. 子ども会やスポーツ少年団の世話	4.4	4.0	7.2	1.8	2.1	6.0	7.7	5.7	3.1	
20	平均的な時間の使い方は										
	A、 学校を 出る時刻を	1. 4時半以前	2.1	2.2	1.3	0.6	1.2	1.5	1.8	2.2	4.4
		2. 4時半頃	8.9	8.3	13.9	4.3	7.5	10.6	5.7	11.5	13.7
		3. 5時頃	23.7	21.9	37.2	22.3	18.7	25.8	24.9	25.3	24.5
		4. 5時半頃	21.3	20.6	25.1	17.7	22.8	22.0	25.9	19.4	20.4
		5. 6時頃	18.5	19.7	10.8	24.4	22.4	17.8	18.6	17.9	11.9
		6. 6時半以降	25.5	27.3	11.7	30.7	27.4	22.3	23.1	23.7	25.1
	B、 夜、 テレビを みる時間	1. 30分くらい	18.2	16.8	28.7	19.1	16.3	16.3	23.7	18.0	15.2
		2. 1時間くらい	35.0	34.7	35.2	30.0	28.0	35.7	37.3	40.0	37.5
		3. 1時間半くらい	25.9	26.4	25.0	29.3	28.5	27.9	21.9	23.7	25.3
		4. 2時間以上	17.9	19.3	7.4	16.9	23.4	17.8	15.9	15.1	19.4
		5. 3時間以上	2.4	2.4	2.3	2.5	3.8	1.9	1.2	3.2	2.1
		6. 4時間以上	0.6	0.4	1.4	2.2	0.0	0.4	0.0	0.0	0.5
	C、 帰宅後、 授業の 準備をする時間	1. 30分くらい	30.2	30.7	26.4	25.2	36.4	34.9	28.1	29.4	29.7
		2. 1時間くらい	33.0	33.3	33.9	33.9	31.8	30.4	33.3	36.4	32.4
		3. 1時間半くらい	19.3	18.7	21.7	21.7	17.6	18.7	19.4	17.8	19.4
		4. 2時間以上	14.8	14.6	15.1	15.7	11.2	14.0	16.7	14.1	15.8
		5. 3時間以上	2.4	2.4	2.4	3.5	3.0	1.6	2.5	1.9	1.9
6. 4時間以上		0.3	0.3	0.5	0.0	0.0	0.4	0.0	0.4	0.8	

	質問・選択肢	全体	性別		年齢別						
			男子	女子	30歳以下	31-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50歳以上	
20	D、帰宅後、読書に費やす時間	1. 30分くらい	26.8	26.0	31.7	32.9	36.1	30.9	24.1	25.5	16.5
		2. 1時間くらい	43.5	43.1	48.6	43.4	39.5	41.3	44.8	43.9	46.0
		3. 1時間半くらい	14.2	15.0	8.7	12.9	14.3	11.2	14.8	15.3	16.0
		4. 2時間以上	12.0	12.0	10.1	7.7	6.3	13.9	13.6	11.6	16.8
		5. 3時間以上	3.2	3.6	0.9	3.1	3.8	2.7	2.4	3.3	3.9
		6. 4時間以上	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.4	0.8
21	自由に使うことができる1か月の小遣いの額	1. 5千円くらい	5.3	5.2	6.0	3.1	5.0	6.5	6.0	6.1	5.2
		2. 1万円くらい	18.2	18.1	17.4	12.0	22.5	19.2	20.2	18.7	18.3
		3. 2万円くらい	29.2	30.2	22.9	23.2	31.5	32.2	26.9	33.8	29.9
		4. 3万円くらい	23.4	22.8	28.0	22.5	16.3	26.1	25.0	24.5	24.5
		5. 4万円くらい	10.0	10.2	8.3	15.7	6.3	8.0	10.8	8.3	9.3
		6. 5万円くらい	8.1	8.1	9.2	13.6	9.6	3.8	6.6	6.1	8.2
		7. 6万円以上	5.8	5.4	8.3	9.9	8.8	4.2	4.5	2.5	4.6
22	未婚の別	1. 未婚	16.3	13.4	38.5	67.6	16.8	5.7	1.8	1.8	2.1
		2. 既婚子どもなし	6.4	6.3	7.7	12.8	13.9	5.0	3.3	2.2	3.1
		3. 既婚子どもあり	77.0	80.0	52.9	19.6	69.3	87.8	94.9	95.6	94.5
		4. その他	0.3	0.3	0.9	0.0	0.0	1.5	0.0	0.4	0.3
22	配偶者の職業	1. 教員	26.7	22.8	62.6	34.6	30.5	32.0	32.6	23.1	16.1
		2. 教員以外のフルタイムの仕事	9.2	7.5	28.4	13.1	10.0	10.0	9.5	9.3	6.9
		3. 教員以外のパートタイムの仕事	5.9	6.2	1.5	0.0	2.0	2.9	5.5	10.8	8.5
		4. 専業主婦	54.7	60.2	6.0	49.5	56.0	52.2	48.7	53.1	63.7
		5. その他	3.5	3.3	6.0	2.8	1.5	2.9	3.7	3.7	4.8